

会長のページ 公害は過去のもの？	河野 雅行	3
日州医談 新型コロナウイルス感染症罹患後症状に対する 外来診療体制の構築について	吉田 建世	4
エコー・リレー (566)	沖田 和久, 有川 章治	7
メディアの目 命 綱	村岡 経世	8
身近なお困りごと相談室		9
宮崎大学医学部だより (内科学講座－循環器・腎臓内科学分野－)	井手口 武史	20
専門分科医会だより (整形外科医会)	川越 正一	21
診療メモ 卵円孔開存 (PFO) に対するカテーテル治療	木村 俊之	60
宮大医学部学生のページ コロナの規制緩和と学生生活の変化	早瀬 陸	62

あなたできますか？ (令和3年度医師国家試験問題より)	6
表彰・祝賀	10
宮崎県感染症発生動向	14
各郡市医師会だより (児湯医師会, 西都市西児湯医師会)	16
第23回宮崎県医師会医家芸術展	22
令和4年度九州学校検診協議会幹事会	23
令和4年度九州各県医師会学校保健担当理事者会 (日本医師会学校保健担当理事との懇談会)	24
第66回九州ブロック学校保健・学校医大会並びに令和4年度九州学校検診協議会 (年次大会)	26
第123回九州医師会連合会定例委員総会	28
日医インターネットニュースから	30
医師国保組合だより	32
会員の異動・変更報告	34
理事会日誌	36
ベストセラー	40
県医の動き	42
ドクターバンク情報	43
行事予定	49
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	51
あとがき	70

お知らせ 「新春随想」原稿募集	13
地球温暖化防止対策 (クールビズ) の実施について	27
医師年金アンケート (認知度調査)	29
第31回日本医学会総会	35
県医師会館大規模修繕工事開始について	41
日州医事へのご意見・ご感想	47
医療事故調査制度相談窓口	58
医療勤務環境改善支援センター	59
郡市医師会への送付文書	64

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：アクリル〕

感 謝

「楽しんで生きる」約5年前から、毎週末には日常の繁忙さから解放されて、色とりどりの絵の具に心癒される時間を過ごしています。キャンバスを前に四季の移ろいとともに、来し方を懐かしく思い出したり、行く末が希望に満ちたものになるよう祈りながら、心の思いを絵筆にのせました。

風の音・花の笑顔・こころの憩いを感じていただければ嬉しいです。

宮崎市の野崎藤子

会長のページ

公害は過去のもの？

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

先日ドライブを兼ねて土呂久地区を訪れました。緑豊かな自然の中の静かな山村風景からは過去に痛ましい歴史があったとは想像すらできません。

狭義の公害とは異なりますが、福島原発の処理水の海洋放出が検討されて話題になっているようです。年々増加して処理に困った放射能処理水を国際基準に合うまで希釈して海洋放出するとしています。専門家によれば希釈後の放射性物質は、他国で稼働中原発のそれよりも同等かもしくは低い値で、十分安全な状態であり科学的には問題ないとされています。しかし、風評被害を受ける地域の人たちの困惑はいかげでしょうか。昨今の電力需給から直ちに原発を廃止するのは不可能です。むしろ国は数か所の再稼働を予定しています。一部の外国や一部の人たちの過剰反応は別にしても、今後は処理の在り方とともに風評被害も真剣に検討しなければならないでしょう。

公害問題はさまざまな要素が絡んでなかなか難しい話題ではありますが、避けては通れない問題です。

幸い近年、我が国では公害がニュースになることは少なくなりましたが、高度成長期には日本が公害列島と呼ばれた時代がありました。水俣病、川崎ぜんそく、四日市ぜんそく、富山のイタイイタイ病など社会の近代化にともなう産業発展の負の面としての深刻な公害がありました。当時ほどではありませんが、今でもわずかながら新規認定される患者さんがいるようです。

我が国の公害の歴史は古く、有名な事件では足尾鉬毒などが記録に残っています。宮崎県にも土呂久が記録されています。県北の土呂久に亜ヒ酸を製造する鉬山があり、その精錬過程で周辺地域にヒ素による害が発生したものです。天然資源の乏しい我が国においては、全国を調査して可能性があれば無理をしてでも採掘したようです。記録によれば土呂久は、大正9（1920）年から昭和37（1962）年頃まで採掘が続けられました。亜ヒ酸を製造する過程で重金属の粉塵、亜硫酸ガスの飛散、川の汚染などにより、皮膚の色素異常・角化、ボーエン病、皮膚がん、鼻中隔欠損、肺がんなどが発症して問題になりました。昭和50（1975）年に裁判が始まり15年後に和解しています。

しかし、すでに和解してはいても、過去の問題として風化させてはいけない歴史であり、公害は二度と起こしてはなりません。今でも病で苦しんでいる人たちの救済は第一に考えるべきですし、前述のように風評という実体のないもので被害を受けている人たちの救済も必要です。記録を残すために宮崎大学に「土呂久民俗資料室」が設置されているようです。（令和4年9月15日）

日州医談

新型コロナウイルス感染症罹患後症状に
対する外来診療体制の構築について宮崎県医師会 常任理事 ^{よし}吉 ^だ田 ^{けん}建 ^{せい}世

新型コロナウイルス感染症は、2020年1月に日本で初めて感染が確認されて以降、ウイルスは現在までに変異を繰り返してきている。感染力の強いオミクロン株による第7波では、2か月間ほどで過去の累積患者数の2倍を超す新規感染者を出し、現在国内感染者数が2千万人を超した。

感染拡大当初より、コロナから回復しても、咳や全身倦怠感、味覚障害などの症状が残っている事例がみられていたが、第7波になって感染者が急増したのに伴い、多様な罹患後症状を訴える県民の声が多く聞かれるようになった。罹患後症状が、内科、精神科、皮膚科など複数の診療科に分かれること、また、国において罹患後症状の診療の手順がまだ標準化されていないこともあり、本県において、相談窓口や専門外来の設置等が進んでおらず、患者対応が不十分な状況となっていた。

このようなことから、宮崎県医師会では、罹患後症状を訴える患者の受診体制を構築し、令和4年8月31日に宮崎県庁のホームページに「新型コロナウイルス感染症の後遺症（罹患後症状）について」というコーナーを作り、受診体制の案内を掲載するに至った。

1. 罹患後症状の例

コロナから回復後も、さまざまな罹患後症状がみられている。例えば、疲労感・倦怠感、筋肉痛、筋力低下、脱毛、咳、胸痛、動悸、息切れ、嗅覚障害、味覚障害、下痢、腹痛、頭痛、睡眠障害、記憶障害、集中力低下、抑うつなどがみられる。実際には、作業能力が低下し仕事

ができず、怠けているのではと勘違いされる会社員、味覚・嗅覚障害で料理がうまく作れず悩んでいる主婦、意欲がなくて外出せず、買い物にも出ない高齢者などがみられる。また、ブレインフォグといわれ、頭に霧がかかった状態で、頭が働かない、ボーッとして物忘れがあり、ひどい例では、回復するまでの2～3週間の記憶がない人も実際おられた。

ただ、現在では、まだ治療法は確立されておらず、各科とも、対処療法で対応しているのが現状である。

2. 体制構築までの経緯

1) 医療機関へのアンケート

罹患後症状の実態把握のため、令和4年5月24日、本会より医療機関への患者対応についてのアンケートを行った。363施設の医療機関（回答率45%）から回答があった。

罹患後症状を訴える患者の受診や相談があったと答えた医療機関は113施設であった。そのうち101施設（89%）において罹患後症状の診療を行っていることが分かった。

2) 宮崎大学と県行政との協議

6月8日、県医師会にて、アンケート結果を基に、現状について情報を共有するとともに、宮崎大学内科学講座・宮崎泰可教授からのアドバイスのもと、他県の後遺症外来体制を参考にして、本県の体制構築に向け役割分担などについて協議した。

3) 罹患後症状を外来診療できる医療機関を募集

6月22日～7月20日まで、本会より県下

810医療機関（Ａ会員および国公立病院）に対し、外来診療ができる医療機関を募集し、95施設（診療科）より手上げいただいた。内訳は、内科48施設、精神科/心療内科7施設、皮膚科5施設、耳鼻咽喉科14施設、整形外科12施設、その他（小児科・脳神経外科）が9施設だった。

4) セルフチェックシートの作成

他県のを参考に、宮崎泰可教授や峰松俊夫理事のアドバイスのもと「セルフチェックシート案」を作成した。

5) 関係する専門分科医会長および各郡市医師会へチェックシートの確認と協力依頼

セルフチェックシートで患者を誘導する診療科の専門分科医会長（内科医会、精神科医会、皮膚科医会、耳鼻咽喉科医会、整形外科医会）と各郡市医師会へ、チェックシートの確認依頼と協力依頼を行い、了承を得て、セ

ルフチェックシートによる受診体制を完成させた。

6) 宮崎県庁ホームページに掲載

8月31日、宮崎県庁ホームページ内「新型コロナウイルス感染症の後遺症について」コーナーでの掲載を開始した。同時に、宮崎県医師会のホームページにもリンクを貼り、県庁のホームページへ誘導をしている。

以上の経過で、宮崎県における新型コロナウイルス感染症罹患後症状に対する診療体制を構築した。今後、症例が増えて、はっきりとした治療方針が確立され、診療に参加する医療機関が増えることを期待するところである。

県庁では、罹患後症状の外来診療を行っている医療機関の受診状況を把握するため、本年9月～12月の期間の症状別診療件数の調査を行っている。調査回答に協力をお願いしたい。

新型コロナウイルス感染症罹患後症状（後遺症）受診 セルフチェックシート

受診の目安		ABCすべてに☑チェックがついたら医療機関を受診いただく目安となります。	
☐	A：新型コロナウイルス感染症の療養期間（自宅待機などの行動制限期間）が終了している。		
☐	B：罹患後症状（後遺症）が疑われる症状による日常生活への支障の度合いがレベル3以上（下表（2）レベルの指標参照）である。		
☐	C：罹患後症状（後遺症）が疑われる症状が4週間以上継続している。		

2 罹患後症状（後遺症）が疑われる症状について

	(1) 最も気になる症状を選び○印をつけてください。症状ごとに右の問いにお進みください。	(2) 左記症状による日常生活への支障の度合いをレベル5段階から選んでください。					(3) 症状が始まった日をご記入ください。	(4) 症状が続いている期間を選んでください。		(5) 受診先となる診療科
		レベルの指標	1	2	3	4		5	4週間未満	
ア	せき たん 息切れ 胸痛 動悸 疲労感 倦怠感 筋力低下 頭痛 下痢 腹痛	1	2	3	4	5	月 日 頃から	4週間未満	4週間以上継続	内科
イ	記憶障害 睡眠障害	1	2	3	4	5	月 日 頃から	4週間未満	4週間以上継続	精神科/ 心療内科
ウ	脱毛	1	2	3	4	5	月 日 頃から	4週間未満	4週間以上継続	皮膚科
エ	嗅覚障害	1	2	3	4	5	月 日 頃から	4週間未満	4週間以上継続	耳鼻咽喉科
オ	関節痛	1	2	3	4	5	月 日 頃から	4週間未満	4週間以上継続	整形外科

1

2

3

4

5

↓

↓

↓

↓

↓

支障なし

ほぼ支障なし

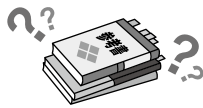
少し支障あり

支障あり

支障が大きい

B

C



あなたできますか？

—令和3年度 医師国家試験問題より—

(解答は23ページ)

1. 妊娠末期の膈分泌物細菌培養検査でB群連鎖球菌〈GBS〉が陽性となった妊婦に対する母子感染予防対策として、ペニシリン系抗菌薬の投与を開始する適切な時期はどれか。
 - a 陽性判明の時点
 - b 妊娠37週時
 - c 陣痛開始時
 - d 子宮口全開大時
 - e 児頭排胎時
2. 心不全で来院した患者において心サルコイドーシスの所見に合致しないのはどれか。
 - a 房室ブロック
 - b 持続性心室頻拍
 - c 左室駆出率の低下
 - d 心室中隔の非対称性肥大
 - e FDG-PETでの心筋への異常集積
3. 生後10時間の男児。在胎39週、体重2,960 g、Apgarスコア7点（1分）、8点（5分）で出生した。助産師がチアノーゼに気づき医師に報告した。出生時にはチアノーゼに気づかなかったという。体温36.9℃。心拍数128/分。呼吸数38/分。SpO₂ (room air) 76%（上肢）、75%（下肢）。高濃度酸素を投与してもチアノーゼは持続した。心エコー検査では4つの心腔が確認されるが、右心室から肺動脈への駆出血流は確認できない。動脈管から肺動脈に流入している少量の血流を認めた。
この児に適切な初期対応はどれか。
 - a 利尿薬の投与
 - b ドパミンの投与
 - c ジゴキシンの投与
 - d 高濃度酸素の継続
 - e プロスタグランディンE₁の投与
4. 意識障害のある患者に行うことが困難な身体診察はどれか。
 - a 腱反射
 - b 項部硬直
 - c 対光反射
 - d 鼻指鼻試験
 - e 膝立て試験（下肢ドロップングテスト）
5. 医療面接において患者と良好なコミュニケーションを行うために適切なのはどれか。
 - a 医学用語を用いて病状を説明する。
 - b 相手が話したことは繰り返さない。
 - c 冒頭から閉じられた質問を用いる。
 - d 電子カルテの画面を見ながら話を聞く。
 - e 症状が患者の生活に及ぼしている影響を聞く。
6. 成人の安静時所見のうち異常なのはどれか。
 - a 腋窩体温36.2℃
 - b 脈拍96/分、整
 - c 血圧112/70mmHg
 - d 呼吸数24/分
 - e SpO₂ 97% (room air)
7. 小児の二次救命処置を2名で行う場合、人工呼吸と胸骨圧迫の比で正しいのはどれか。
 - a 1 : 3
 - b 1 : 15
 - c 2 : 15
 - d 2 : 30
 - e 3 : 30
8. 予防接種法に規定されている定期接種について正しいのはどれか。2つ選べ。
 - a 1 類疾病と 2 類疾病がある。
 - b 実施主体は都道府県である。
 - c 接種費用が公費で負担される。
 - d 医師は副反応を疑う症状を知った時に報告する義務がある。
 - e すべての対象疾病について、接種対象者には接種の努力義務がある。
9. 10か月の男児。昨夜から血便、嘔吐を認め、機嫌も悪いため母親に連れられて来院した。①足底を刺激すると開眼し、②皮膚色はピンク色である。③ツルゴールは軽度低下しており、④口唇の乾燥は軽度である。⑤毛細血管再充満時間は3秒である。
この患児で循環不全を示す所見は下線部のうちどれか。
 - a ①
 - b ②
 - c ③
 - d ④
 - e ⑤
10. 統合失調症を強く示唆する患者の発言はどれか。
 - a 「自分は電波で操られている」
 - b 「(壁のしみを指して) 虫が這っている」
 - c 「電車の中で発作が起こるのが心配です」
 - d 「人前では緊張して思うように話すことができません」
 - e 「鍵をかけたのか何度も確認しないと気が済みません」

エコー・リレー

(566回)

(南から北へ北から南へ)

相 棒

宮崎市 沖田眼科 おき た かず ひさ
沖 田 和 久

最近ゴルフをはじめた。トランクにゴルフバッグを詰めて暇を見つけてはせっせと打ちっぱなしの練習に通っている。老体にムチを打ちながらの練習だが、一緒に行く車も老体だ。6代目カローラレビン(AE101)。

1991年、大学2年生のときに購入した。駆動方式がFRだったイニシャルDの藤原豆腐店でおなじみのAE86エンジンから、2世代後継車でFFのため、走り屋からみると若干地味な存在だが、バブル期に開発されたため、ずっしりしっかりしていてよくできている。もう31年、まさに相棒だ。ちなみに妻とは出会って25年だから、レビンとの付き合いの方が長い。塗装ははげ、シートも破れ、年季の入った車に、高校生の娘はもう一緒に乗ってくれない。ドアを開ける度にギ〜ッと音は鳴るし、ウィンドウが閉まらなくなったこともあった。ちなみに、こんな車ですがガソリンはハイオク。スマートキーではないので雨のときはずぶ濡れになるし、故障のときが一大事。タイミングベルトが切れたときはたまたま左車線を走っていたのでことなきを得た。怖かったのはオイル漏れでクラッチが上がりなくなったときだ。クラッチの戻りがもともとの半クラッチの位置にしか戻らなくなったので、足を離したら半クラッチになるのかと思いきや、その狭い幅に同じ比率で半クラッチが存在していた。戻りが3cmになったときあきらめた。2年に1度の車検のたび、修理の部品の取り寄せが難しくなりTOYOTAのお兄さんを困らせている。ここまで乗ってしまうと、愛着がわき簡単に乗り換えることができないのだ。昨今欧米のビジネスがらみでSDGsとやらが叫ばれているが、それに鑑みても31年間同じ車に乗り続けていることは8年に1度新車に乗り換えるよりは脱炭素な気がする。まだまだこの相棒との付き合いが続きそうだ。

[次回は、宮崎市の西田 隆昭先生をお願いします]

忍び寄る影

宮崎市 ありかわクリニック あり かわ しょう じ
有 川 章 治

最近是大河ドラマ以外のテレビ番組は見なくなりYouTubeを見るようになりました。日本史関連や政治もの、音楽番組などで心を癒しております。最近はやっているのはヒカルやジョー

ーブログなど登録者数100万人を超える若者たちです。当初は自分とは嗜好(思考?)が違うので見向きもしませんでした。色々番組を見ていると勝手にAIがお勧め番組を紹介してくるので、試しに見てみたところ、これが面白くはまってしまったのです。彼らは大胆で実行力がすごく、自分たちが納得するまで企画を遂行します。それらが視聴者である他の若者たちの共感を得ているものと思われます。

例えば、地域の祭りに出店しているくじ引き屋さんで、その店のくじ引きをすべて買い取るという企画を実行し、結局3等以上の商品は当たらずカスばかりという当然の結果で的屋さんと言い争いになり、最終的に近くの交番から警官を連れてくるとの無茶ぶりを実行していきま。結果は見てのお楽しみです。的屋さんからするとやっかいなクレマーが来たと思うことでしょう。しかもずっとビデオを回して撮影しているので、脅したりとかできないので、ホトホト困っていると思います。必要悪ではないですが、日本的な曖昧な文化が昔から受け継がれているので、それを現代の若者は承知できないのかもしれない。他人事と思っていると、明日にはビデオカメラを回しながら彼らがやってくるかもしれません、あなたの病院・診療所に。

[次回は、串間市の江藤 敏治先生をお願いします]

メディアの目



命 綱

読売新聞 宮崎支局長
むら おか つね よ
村 岡 経 世

東京都の離島・小笠原諸島での急患搬送には、海上自衛隊の航空機が使われている。その通算回数が1,000回に達し、8月26日、東京都や小笠原村から海自に感謝状が贈られた。

搬送に活躍した航空機の一つが、陸上の滑走路でも水面でも離着陸できる救難飛行艇だ。筆者が基地の街・山口県岩国市にある支局に勤務していた10年あまり前、新型の「US-2」への更新が進められていた。後に太平洋横断に挑んでいた男性キャスターの船が浸水した際、洋上救助を成功させ、能力の高さが注目された。

救難飛行艇はかつて、潜水艦を探知するなどの任務を担ったが、現在は洋上での救命にあっている。小笠原諸島では、滑走路がない島の急患搬送に使われていた。本土から医師を乗せて現場に赴き、患者を乗せて本土の病院へとつなぐといった運用が行われ、島で暮らす人たちの「命綱」の役割を担った。現在は運用から外れ、他の固定翼機や回転翼機が活躍しているという。

岩国勤務時代、岩国航空基地でUS-2のシミュレーターを体験させてもらった。操縦かんを握り、機体の角度を保つことに集中すると、設

定が「風」だったこともあり無事に着水できた。US-2は3メートルの波でも着水できる性能を持つ。悪天候下に機体が現れたとき、患者や要救助者がどれだけホッとしたか想像に難くない。

新型コロナウイルスの感染拡大は、各地の救急搬送にも影響を与えている。今夏、医療機関に受け入れを4回以上照会し、更に救急車が現場に30分以上とどまった「救急搬送困難事案」が急増した。宮崎市消防局によると、8月14日までの1週間で45件に上り、過去最多を更新。医療現場の切迫ぶりも垣間見える。

コロナ禍が始まって以降、「アフターコロナ」への期待を膨らませては、再拡大によって元に戻る事態が繰り返されてきた。以前の平穏を取り戻すのは、もう少し先なのかもしれない。

この間、医療現場や救急搬送現場では総力を挙げた対応が続けられてきた。こうした業務に携わる人たちが、どのような思いで患者の命を守っているのか。現場の息づかいを伝え、社会全体で前に進む機運を高める記事を書きたい。

身近なお困りごと相談室

本コーナーでは、「医療機関での身近な疑問や質問」について、各分野の専門家が回答いたします。

第13回 職員の新型コロナウイルス感染による休暇の取扱いについて



Q.

COVID-19第7波で従業員自身や家族の感染が相次いでいます。現在、有症状感染者では最低7日間出勤停止となりますが、症状が遷延している場合などは更に追加で休んでもらうことがあります。また濃厚接触者とされた場合、医療従事者は当日抗原検査陰性であれば、勤務してよいという特例がありますが、医療機関として大事をとって休んでもらう（本人が出勤を希望したとしても）ケースもあります。その場合の賃金などの扱いとして、有給休暇消化、労災や傷病手当を使う、あるいは特別休暇などあるかと思います。隔離観察期間中とその期間が過ぎた後も休んでもらう場合の扱いなど、教えてください。

濃厚接触者とされた場合で勤務可能であり、本人が出勤を希望した場合に大事をとって休んでもらう場合は、事業所の判断で休んでもらうことになりますので、休業手当として平均賃金の60%以上の支払いが必要になります。濃厚接触者で感染していなければ、労災保険、傷病手当金の休業補償は受給できません。

隔離観察期間とその期間を過ぎた後の扱いですが、保健所から指示をされた期間を超えて休んでもらう場合は休業手当の支払いが必要になります。

職員が新型コロナウイルスに感染した場合の休業補償につきましては、①年次有給休暇、②労災保険、③傷病手当金、④特別休暇があります。

① 年次有給休暇は本人の意向が必要です。年次有給休暇を使用している期間につきましては労災保険、傷病手当金からの休業補償は受けることができません。

② 労災保険は医療従事者につきましては認定される可能性が高く、休業補償（給与の約80%）も傷病手当金の休業補償（給与の約66%）よりも多く受給できます。ただし、認定に2～3か月程度かかります。

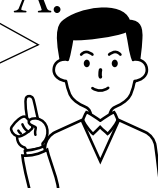
③ 傷病手当金は、現在は医師の証明が必要なく受給できます。なお、傷病手当金と労災保険の両方は受給できません。

④ 特別休暇は事業所ごとに異なりますが、本人の意思に関係なく休暇を取得できます。特別休暇を有給で取得した場合は年次有給休暇と同じく労災保険、傷病手当金から給付を受けることはできません。

また、症状が遷延している場合などは、労災保険、傷病手当金ともに休業補償の対象になりますが、主治医の先生の話聞くなどして決定することになるようです。

（回答 社会保険労務士法人オフィスCOA 特定社会保険労務士 大崎邦彦）

A.



<医療機関での身近な疑問、質問をお寄せください>

● 文字数：200字以内

● 質問はメール（genko@miyazaki.med.or.jp）、FAX、郵送などでお送りください。

※匿名での掲載になります。採否は広報委員会にご一任ください。

表彰・祝賀

医療功労により県知事表彰

かわ 川	な 名	たか 隆	し 司	先生（宮 崎）
の 野	べ 邊	とし 俊	ふみ 文	先生（都 城）
みや 宮	た 田	じゅん 純	いち 一	先生（延 岡）
わた 渡	なべ 邊	ひろ 裕	ゆき 之	先生（日 向）
まえ 前	だ 田	まさ 正	ゆき 幸	先生（児 湯）

令和4年9月1日、医療功労により県知事表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



川名 先生



野邊 先生



宮田 先生



渡邊 先生



前田 先生



表彰・祝賀

救急医療事業功労により県知事表彰

さ さ き こう じ
佐々木 幸 二 先生（都 城）
た なか じょう じ
田 中 穰 式 先生（都 城）
の だ ひろし
野 田 寛 先生（延 岡）

令和4年9月5日、救急医療事業功労により県知事表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



佐々木 先生



田中 先生



野田 先生



表彰・祝賀

産科医療功労により厚生労働大臣表彰

古賀総合病院（宮 崎）

令和4年9月9日、産科医療功労により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。

救急医療功労により厚生労働大臣表彰

あん どう けん いち
安 藤 健 一 先生（都 城）

令和4年9月9日、救急医療功労により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



安藤 先生

「新春随想」原稿募集

恒例になりました「新春随想」を令和5年1, 2月号に企画いたしております。
このコーナーは大変好評ですので、奮ってご投稿をお願いいたします。

- 題 材** 医事評論, 診療閑話, 身辺雑記, 詩歌, 俳句など何でも結構です。
本文に関連した写真・イラストなど(1枚程度, カラー印刷はできません)
- 字 数** 800字以内(字数が多い場合は「新春随想」として掲載できないことがありますのでご了承ください)
- 締 切** 令和4年12月7日(水)
- 宛 先** 宮崎県医師会広報委員会
- ◎ 原稿には「新春随想」と明記してください。
 - ◎ 掲載については、広報委員会にご一任くださいますようお願いいたします。
 - ◎ 掲載はおひとり、1編とさせていただきます。
 - ◎ ご投稿の原稿が他誌に掲載、または投稿中の場合はその旨お知らせください。
 - ◎ 原則として、原稿はお返しいたしません。返送を希望される方はその旨ご指示ください。
 - ◎ 日州医事は、会員以外(マスコミ・行政・図書館など)にも配布しています。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し、日州医事原稿専用アドレス(genko@miyazaki.med.or.jp)宛にお送りください。もちろん、それ以外の方法(FAX, 郵便など)でお送りいただいても構いません。

原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 新春随想係

E-mail: genko@miyazaki.med.or.jp

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

FAX 0985-27-6550 TEL 0985-22-5118

※原稿送付の際は、他の原稿との混同を防ぐため「新春随想」である旨とタイトル、ご氏名を明記のうえお送りください。

宮崎県感染症発生動向 ～8月～

令和4年8月1日～令和4年8月28日（第31週～第34週）

■全数報告の感染症

- 1類：報告なし。
- 2類：○結核8例（男性4例・女性4例）：保健所別報告数は【図1】，病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりであった。
- 3類：○腸管出血性大腸菌感染症30例：日南（27例），小林（2例），宮崎市（1例）保健所管内から報告があった。患者が20例，無症状病原体保有者が10例で，年齢群別報告数は【表3】のとおりであった。原因菌はO26（VT1）が29例，O血清型不明（VT1）が1例であった。
- 4類：○E型肝炎1例（男性1例）：延岡保健所管内から報告があった。年齢は60歳代で，主な症状として全身倦怠感がみられた。
- 日本紅斑熱1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は60歳代で，ダニの刺し口が確認できた。主な症状として発熱，発疹，DIC，肝機能異常がみられた。
- レプトスピラ症1例：延岡保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，主な症状として発熱，結膜充血，黄疸，蛋白尿がみられた。
- 5類：○アメーバ赤痢1例：日南保健所管内から報告があった。年齢は40歳代，病型は腸管アメーバ症で，主な症状として下痢，粘血便がみられた。
- ウイルス性肝炎3例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は20歳代，30歳代，60歳代で，男性が2例，女性が1例であった。病型はB型が2例，EBVが1例で，主な症状として全身倦怠感，嘔吐，褐色尿，発熱，肝機能異常，黄疸等がみられた。
- カルバペネム耐性腸内細菌感染症1例：都城保健所管内から報告があった。年齢は60歳代で，主な症状として肺炎がみられた。
- 梅毒14例（男性6例・女性8例）：宮崎市（10例），都城（3例），延岡（1例）保健所管内から報告があった。年齢は【表4】のとおりであった。病型は早期顕症梅毒Ⅰ期が5例，早期顕症梅毒Ⅱ期が3例，晩期顕症梅毒が1例，無症状病原体保有者が5例であった。主な症状として初期硬結，硬性下疳，鼠径部リンパ節腫脹，梅毒性バラ疹，神経症状，びらん性胃炎がみられた。
- 播種性クリプトコックス症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，主な症状として真菌血症がみられた。

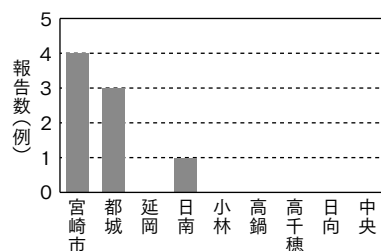


図1 結核 保健所別報告数(例)

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	4
その他の結核 (結核性胸膜炎)	1
無症状病原体保有者	3

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
50歳代	1
60歳代	1
70歳代	1
80歳代	4
90歳代	1

表3 腸管出血性大腸菌感染症 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
0～4歳	21
5～9歳	5
30歳代	2
40歳代	1
70歳代	1

表4 梅毒 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
20歳代	6
30歳代	3
40歳代	2
50歳代	2
70歳代	1

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は914人（定点あたり26.6）で，前月の70%，例年の49%であった。前月に比べ増加した主な疾患は特になく，減

■病原体検出情報（微生物部）

	検出病原体	件
ウイルス	ヒトパレコウイルス3型	3
	ヒトヘルペスウイルス7	1

少した主な疾患は咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、手足口病及びヘルパンギーナであった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は手足口病であった。

感染性胃腸炎の報告数は458人（12.7）で前月の約0.7倍、例年の約0.8倍であった。小林（23.7）、中央（18.0）、日向（17.8）、日南（17.7）保健所からの報告が多く、6ヵ月から3歳が全体の約6割を占めた。

手足口病の報告数は202人（5.6）で前月の約0.6倍、例年の約1.7倍であった。都城（10.7）、日南（8.3）、中央（7.0）保健所からの報告が多く、1歳から2歳が全体の約7割を占めた。

■月報告対象疾患の発生動向〈2022年8月〉

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は28人（2.2）で、前月比58%と減少した。また、昨年8月（2.9）の約0.7倍であった。

《疾患別》

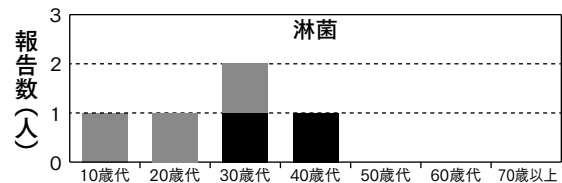
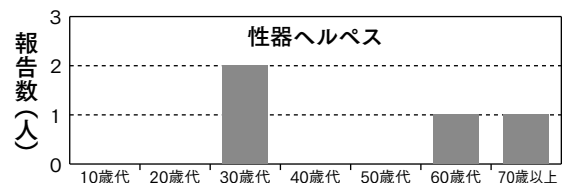
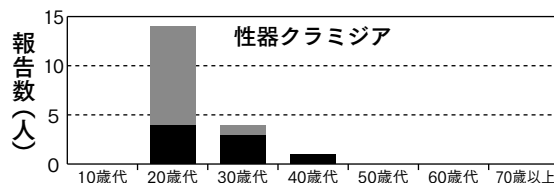
- 性器クラミジア感染症：報告数19人（1.5）で、前月の約0.7倍、昨年8月の約1.4倍であった。20歳代が全体の約7割を占めた。（男性8人・女性11人）
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数4人（0.31）で、前月の0.4倍、昨年8月の約0.2倍であった。（女性4人）
- 尖圭コンジローマ：報告なし。
- 淋菌感染症：報告数5人（0.38）で、前月の約0.5倍、昨年8月の約0.8倍であった。（男性2人・女性3人）

前月との比較

	2022年8月		2022年7月		例年との比較
	報告数 (人)	定点当 たり(人)	報告数 (人)	定点当 たり(人)	
インフルエンザ	1	0.0	3	0.1	
RSウイルス感染症	113	3.1	113	3.1	
咽頭結膜熱	15	0.4	36	1.0	
※溶レン菌咽頭炎	22	0.6	27	0.8	
感染性胃腸炎	458	12.7	657	18.3	
水痘	17	0.5	16	0.4	
手足口病	202	5.6	366	10.2	★
伝染性紅斑	0	0.0	0	0.0	
突発性発しん	60	1.7	92	2.6	
ヘルパンギーナ	17	0.5	27	0.8	
流行性耳下腺炎	0	0.0	4	0.1	
急性出血性結膜炎	0	0.0	2	0.3	
流行性角結膜炎	9	1.5	4	0.7	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0.0	0	0.0	

★例年同時期（過去3年の平均）より報告数が多い

※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



■男 ■女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は27人（3.9）で、前月比113%と増加した。また、昨年8月（1.4）の2.7倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数27人（3.9）で、前月の約1.1倍、昨年8月の3.0倍であった。70歳以上が全体の約7割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

各都市医師会だより

児 湯 医 師 会

会長 ^{なが}永 ^{とも}友 ^{かず}和 ^{ゆき}之

6月の総会で11期目の会長を担当することになりました。38年間も西臼杵郡医師会長をされた先生のことを想うと、私ももっと頑張らなければなりません。「何を」かが問題であります。

蟻塚高生先生も「もらい事故」にしては長いなあと同じく11期目の副会長を受けていただいております。再登板のための充電期間として、坂田師隣先生、黒木宗俊先生、米澤勤先生が退任となりました。

代わって、鳥原康治先生（准看護学校主事）、山口真太郎先生（会計）、山中聡先生（県医師会理事）が新しく理事に就任、すでにフル回転操業中であります。大森史彦理事（総務）以下9名の先生方は留任となっております。

① 新型コロナウイルス感染症

8月末日の時点で、このウイルスは相変わらずの勢いですが、感染症対策委員長の押川克久先生を先頭に、多くの医療機関が予防接種・発熱外来はもちろん、保健所、感染症指定病院、協力病院、訪問看護ステーションなどと連絡を密にして適切な対応にこころがけております。

② 児湯准看護学校

本校は1963年に設立され、多くの質の高い看護師を育ててまいりました。

しかしここ数年は、定員割れや多額の赤字を抱えながらの運営を余儀なくされております。児湯郡内唯一の看護職養成所であり、また会員の看護職育成の要望も高く、国（厚労省？）の「准看制度は時代にそぐわない」の考え（多分そうでしょう）の流れに乗るのもシャクの種でありますので、もう少し本校存続のため努力をしてみようと思っております。



児湯医師会新役員

役員等名簿（任期 令和4年6月16日定時総会終結後～令和6年6月定時総会終結時）

役職名	氏 名	診 療 科	所属医療機関	担 当 業 務
会 長	永友 和之	泌尿器科	永友クリニック	総括, 児湯准看護学校長
副会長	蟻塚 高生	眼科	蟻塚クリニック	医療安全対策, 諸規定検討委員会, 倫理向上・自浄作用活性化委員会, 児湯准看護学校副校長
理 事	大森 史彦	内科, 循環器内科, 腎臓内科, 漢方内科, 小児内科	大森内科医院	総務, 学校検診委員会, 健康教育委員会, 地域医療委員会, 医師国保組合議員, 心臓・腎臓検診, 東洋医会
”	高山 修二	小児科, アレルギー科	たかやま小児科	小児科医会, 園医部会, 心臓検診, 予防接種委員会
”	糸井 仁	内科, 消化器内科, 皮膚科	糸井医院	宮崎中部地域産業保健センター, 産業医部会, 学術生涯教育委員会
”	永友 淳司	外科, 内科, 胃腸科, リハビリテーション科	ながとも医院	医療関係者対策, 医師確保対策委員会, 国民健康保険審査会審査委員, 医師国保組合議員
”	山口政一朗	整形外科, 放射線科, リハビリテーション科	山口整形外科	情報システム委員会, 労災部会・自賠委員会
”	野津手大輔	内科	野津手・加来内科 医院	公衆衛生・感染症委員会, 内科医会評議員, 医師協同組合総代, 学校医部会評議員
”	押川 克久	内科, 呼吸器科, アレルギー科	おしかわ内科 クリニック	新型コロナ対策委員, 医療保険委員会
”	永友 研一	胃腸科, 内科, 小児科	永友胃腸科内科医院	会員福祉委員会, 医師協同組合総代
”	谷 畠 満	整形外科, リウマチ科, リハビリテーション科	たにはた整形外科	介護保険委員会, 在宅医療協議会
*	”	耳鼻咽喉科, 気管食道外科	たかなべ耳鼻咽喉科 クリニック	児湯准看護学校主事
*	”	脳神経外科, 神経内科	やまぐち脳神経外科	会計
*	”	内科	川南病院	県医師会理事, 勤務医部会, 病院部会・医療法人部会, 医師協同組合総代
監 事	崎濱 國治	胃腸科, 外科, 消化器科	崎浜胃腸科医院	県外科医会評議員
”	内田 俊浩	内科	内田医院	
議 長	北村 洋	外科, 消化器科, 内科	北村医院	県外科医会理事, 医師国保組合理事
副議長	吹井 聖継	外科, 消化器科, 胃腸科	尾鈴クリニック	

* は新任

各都市医師会だより

西都市西児湯医師会

会 長 まつ もと ひで ひろ
松 本 英 裕

新型コロナウイルス感染症に対して、第7波が少しずつ収まる気配を感じますが、医療関係者の感染者、濃厚接触者の拡大によって、大変なご苦勞があったと思います。

さて令和4年6月27日の定時総会にて、当医師会は会長として私が4期目もさせていただくことになりました。3人の副会長を含めた理事全員に留任していただき、顧問、議長、副議長にも留任していただきました。監事は相澤潔先生が勇退され、新たに瀧砂重仁先生をお迎えしました。1～3期において、会長としてどこまで役を果たせたか分かりませんが、3人の副会長には多くの場面においてサポートしていただきましたことに感謝申し上げます。4期目も副会長以下、役員の皆様に支えていただきながら会員の皆様のために力を尽くしたいと思います。

独立行政法人西都児湯医療センターにおいては、大学の協力が大きな力となり外来診療も拡充され、当医師会会員も微力ながら19～23時の一次夜間救急に協力し維持しております。24時間救急医療に向けては常勤医も少なく遠い道のりかもしれませんが、大学や医師会員の協力の元、行政と良好な関係を築き、医療面において適切なアドバイスをしていくことが必要と考えております。新病院建設へ向けて、更に周辺市民、町民、村民に望まれる病院づくりに全面的に協力していきたいと思ひます。

A会員19名、B会員25名の医師会ですが、今期も“和（輪）”を大切にし、今後も高鍋保健所、行政と協力し合って、住民の健康を守りつつ、先に述べた新型コロナウイルス感染症を含めたさまざまな疾患に対応していきたいと思ひます。

今後とも県医師会はじめ皆様方のご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



西都市西児湯医師会新役員

役員等名簿（任期 令和4年6月27日定時総会終結後～令和6年6月定時総会終結時まで）

役職名	氏 名	診 療 科	所属医療機関	担 当 業 務
会 長	松本 英裕	整形外科, リウマチ科, リハビリテーション科	三財病院	総括, 学校保健, 医療事故, 産業医, 在宅医療, 勤務医部会, 産業医部会, 宮崎中部地域産業保健センター, 健康教育委員会, 医師確保対策委員会, 学校検診委員会, 医療安全対策委員会, 県在宅医療協議会, 医師協同組合総代, 西都児湯医療センター評価委員会委員
副会長	大塚康二郎	形成外科, 美容外科, 皮膚科	大塚病院	県医師会常任理事, 労務, 会計, 情報システム委員会, 諸規定検討委員会, 園医部会
”	黒木 重晶	内科, 胃腸科	黒木胃腸科医院	総務, 学術生涯教育委員会, 公衆衛生・感染症委員会, 学校医部会評議員, 心臓検診, 西都市西児湯内科医会副会長, 医師協同組合総代
”	鶴田 明土	整形外科, リハビリテーション科	鶴田病院	医師保険, 救急医療, 医療保険委員会, 救急災害医療対策委員会, 地域医療委員会
理 事	上野 尚美	内科, 腎臓内科	上野医院	腎臓・糖尿検診, 県内科医会評議員, 糖尿病対策
”	上山 裕史	整形外科, リウマチ科, リハビリテーション科	上山医院	介護保険, 介護保険委員会
”	片山 陽平	内科, 総合診療	西米良診療所	会員福祉・文化厚生, 会員福祉委員会
”	杉尾 克徳	内科, 胃腸科	すぎお医院	医師関係者対策委員会, 西都児湯医療センター理事
監 事	岩見 晶臣	小児科	いわみ小児科医院	
* ”	濱砂 重仁	外科	西都児湯医療センター	
議 長	大塚 和子	皮膚科	大塚皮膚科医院	
副議長	河野 立	整形外科, リウマチ科, リハビリテーション科	こうの整形外科	
顧 問	大塚 直純	外科, 消化器科, 胃腸科, 肛門内科, 乳腺内科	大塚病院	
”	兒玉 健二	内科	兒玉内科クリニック	
”	富田 雄二	内科, 循環器科, 小児科	富田医院	医師協同組合総代, 西都市西児湯内科医会会長

* は新任

宮崎大学医学部だより

内科学講座 ー循環器・腎臓内科学分野ー



かいきた こういち
海北 幸一 教授

令和3年5月より海北幸一教授（熊本大学卒）を迎え、内科学講座循環器・腎臓内科分野と教室名が刷新されました。循環器内科・腎臓内科は約80名の医局員から成り、

大学および県内11か所の医療機関に常勤医を派遣しており、県内の循環器・腎臓分野の診療・研究・教育に努めております。

現在循環器内科では、病棟医長である山村善政助教が中心となり、救急隊からの心電図伝送や地域医療機関からハートコールを直接受けるなどして、循環器疾患の急性期患者を積極的に受け入れております。近年、植込型補助人工心臓治療（Implantable LVAD）の管理施設となり植込み施設である九州大学と連携して、患者のフォローを開始しました。循環器内科において虚血性心臓病や心不全、不整脈疾患の治療はもちろんのこと、心臓血管外科チーム・生理検査技師・臨床工学技士らとハートカンファレンスを行い、内科・外科の垣根を超えたチーム医療を行っています。大動脈弁狭窄症患者に対する経カテーテル的大動脈弁置換術は順調に症例を重ねており、チーム医療としても成熟しております。研究においては、松浦祐之介助教を中心に循環器疾患患者におけるフレイルやアミノ酸代謝の視点から出血リスク因子を検討することや、血栓形成や出血リスクを血栓形成能解析シ

ステム（T-TAS：Total Thrombus-formation Analysis System）を用いて解析すること、更には個別化医療へ繋げることを目標として精進しております。その他にも腫瘍循環器学や心筋疾患、不整脈疾患についても臨床研究を行い、若手の医師の活躍の場が増えてきています。

腎臓内科については菊池正雄准教授を中心に腎炎・ネフローゼの診断・治療、慢性腎臓病の管理とともに地域連携機関と連携し、予防から透析医療まで間断ない医療を行っています。宮崎県各地域の中核となる透析施設には医局員を派遣し、県全体の腎疾患患者のマネジメントに貢献しており、更に若手専門医の育成にも力を注いでいます。現在、皆川明大医師をミシガン大学へ留学させ、podocytopathyの研究やネフローゼ疾患の大規模臨床研究を国内外の施設と行うなど日々研究も推進しております。また、医療環境イノベーション講座創設により藤元昭一特別教授と稲垣浩子助教にて企業との共同研究・製品開発を継続しております。

血液・血管先端医療学講座に鶴田敏博教授・小牧聡一助教が就任し、医農工連携プロジェクトの立ち上げから新たな人材発掘、企業との連携など当講座から派生した新規講座が活性化しています。海北幸一教授を中心に現状に留まることなく、診療・研究に邁進しより魅力的な講座を目指しております。内科疾患を幅広く扱う診療科でもあり、若手医師にも全力で向き合うことで、ますます地域に貢献できる人材を育てる所存です。今後とも医師会の諸先生方のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

（医局長 井手口武史）

専 門 分 科 医 会 だ よ り

(整形外科医会)



かわぐち しょういち
川越 正一 会長

令和4年より宮崎県整形外科医会会長に就任しています川越正一です。何分若輩でございます。宮崎県医師会会員の皆様どうぞよろしくご指導のほどお願い申し上げます。

令和4年度でございますが、副会長には坂本康典先生、理事に金井一男先生(延岡)、大平卓先生(日向)、飯田博幸先生(都城)、坂本武郎先生(宮崎大学)、後藤啓輔先生(宮崎)、本部浩一先生(宮崎)が選出され、監事には宮元修一先生、久保紳一郎先生が選出されました。

評議員には三股恒夫先生(日向)、栗原典近先生(延岡)、黒木隆男先生(宮崎)、黒木龍二先生(宮崎)、作良彦先生(宮崎)、渡部正一先生(宮崎)、松田虎洋先生(日南)、池之上貴先生(都城)、竹之内剛先生(小林)、帖佐悦男先生(宮崎大学)、濱中秀昭(宮崎大学)、渡邊信二先生(宮崎大学)が選出されました。

宮崎県整形外科医会の会員数は現在A会員81名、B会員130名の合計211名であります。

宮崎県整形外科医会で毎年行われる主な活動としまして次のものがあります。

1) 全国整形外科保険審査委員会議

例年9月の第1または2日曜日に品川の東京カンファレンスセンターで、審査基準の平準化と全国審査機関の啓発を目的として、日本整形外科学会、日本臨床整形外科学会、日本整形外科勤務医会の3学会の共催で行われています。昨年度は、9月12日に新型コロナウイルス感染症の影響で、Web開催され、5人の審査委員の先生方に参加をしていただいております。

2) 宮崎県整形外科医会研修会

昨年は令和3年11月21日(日)に開催されました。本研修会は、9月の全国整形外科保険審査委員会議の結果をふまえて、宮崎県における保険審査基準を説明する会であります。社保審査委員からは船本太郎先生、国保審査委員からは税所幸一郎先生が講師として出席されました。また、同時に特別講演としまして、宮崎大学医学部附属病院 整形外科 病院准教授の濱中秀昭先生に『骨粗鬆症性椎体骨折に対する診断と治療』をお話ししていただきました。

3) 市民公開講座

令和3年10月3日(日)に開催されました。本講座は宮崎大学整形外科教室が中心になり毎年10月に開催されます。聴衆は一般市民です。整形外科の講師は4名で1名が30分ずつお話しされます。県整形外科医会からは、樋口潤一先生(Mスポーツ整形外科クリニック)に講師をお願いしました。

4) 『生きる力』を育む健康教育充実事業

この事業への講師派遣は宮崎県教育庁からの依頼で、宮崎県の小学校、中学校、高等学校に整形外科講師を派遣しています。昨年度は4名の先生方(染矢晋佑先生、飯田博幸先生、公文崇詞先生、大平卓先生)に講演をお願いしました。

5) 宮崎日日新聞生活情報誌『きゅんと』の執筆協力

整形外科が担当する枠が1年に2回あります。昨年度は三橋龍馬先生(野崎東病院)、本年度は久保紳一郎先生(野崎東病院)に執筆していただいております。

ここ数年、新型コロナウイルスの影響で種々の会合や講演会が中止となり、会員の先生方に直接お目にかかることが少なくなり、残念に思います。県医師会会員の先生方のご健勝をお祈り申し上げます。

第23回宮崎県医師会医家芸術展

第23回医家芸術展が、8月10、11、13、14日の4日間（12日は休館日）、県立美術館県民ギャラリーにて開催されました。1,468名の方にご来場いただき、無事に終了することができました。ご出展いただいた会員およびご家族の皆様にご感謝申し上げます。

なお、出展された作品の一部につきましては、作者の許可を得まして、日州医事の表紙を飾る予定となっております。楽しみにお待ちしております。

最後に、今年度も世話人の、山内励先生、藤木浩先生、押川紘一郎先生には多大なご尽力をいただきました。ここにお礼申し上げます。

出展者数、出展数および、開催期間中の来場者数は右表のとおりです。

	出展者数	出展数
書 道	5名	12点
絵 画	16名	60点
写 真	13名	55点
その他	2名	10点
合 計	36名	137点

	来 場 者 数
8月10日(水)	233名
8月11日(木)	354名
8月12日(金)	休 館 日
8月13日(土)	474名
8月14日(日)	407名
計	1,468名



（会場風景）



令和4年度九州学校検診協議会幹事会

と き 令和4年7月30日(土)

ところ 県医師会館 (Web開催)

長崎県医師会の森崎会長、九州学校検診協議会の蓮澤会長の挨拶の後、慣例により、蓮澤会長が座長に選出され、協議に入った。

協議事項

- 1 九州学校検診協議会役員、専門委員について
- 2 令和4年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について
原案のとおり承認された。

報告事項

- 1 令和3年度事業報告並びに収支決算について
- 2 九州学校検診協議会における令和3年度活動報告書について
- 3 令和4年度第1回専門委員会について
先に行われた各専門委員会の心臓、腎臓、成長発育・小児生活病等、運動器の各部門について報告が行われた。

出席者－河野会長、小牧副会長、
高木常任理事、宮田学校医部会理事、
澤田学校検診委員会委員、野尻課長、
横山・荒川主事



あなたできますか？(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
c	d	e	d	e	d	c	c, d	e	a

令和4年度九州各県医師会学校保健担当理事者会 (日本医師会学校保健担当理事との懇談会)

と き 令和4年7月30日(土)

ところ 県医師会館 (Web開催)



長崎県医師会の森崎会長、日本医師会の渡辺常任理事の挨拶の後、慣例により、森崎会長が座長に選出され協議に入った。

協 議

1 学校現場における新型コロナウイルス感染症への対応と学校医との情報共有等並びに予防接種の普及啓発について

(鹿児島県)

本県では、保健所機能のひっ迫により、学校内で新型コロナ感染者が確認された際、保健所から学校への指示が来ない事例が散見され、学校医にも情報が共有されない例もあった。学校内での感染拡大防止の指導・助言、児童・生徒が検査を希望して受診した場合の必要性を判断するうえでも、県教育委員会を通じ、学校現場には「学校等欠席者・感染症情報収集システム」への入力呼びかけを依頼しているが、十分に活用できていない。

九州各県医師会における学校現場での新

型コロナへの取り組みや、学校等欠席者・感染症情報収集システムの活用状況などをお伺いしたい。また、日医には、文科省と連携し、学校現場に対し、同システムの入力を強く促していただきたい。

また、今冬は新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行が危惧される。子どもたちへの新型コロナワクチン、インフルエンザワクチン接種率並びに子どもたちへの接種促進について、日医の見解をお伺いしたい。

各県回答

学校等欠席者・感染症情報収集システムの全市町村への導入について、県により対応が分かれた。宮崎県は全市町村へ導入しており、県教育委員会が毎日チェックしているが、学校医への情報共有は課題が残っている。熊本県、福岡県では、地域によって導入、活用がうまく進んでいない地域もあった。

日本医師会

システムの入力が円滑でない点について、以前から、校務支援ソフトとの情報連携がうまくいっていないとの指摘がなされている。日本学校保健会から文科省に入力の課題を挙げていただき、円滑に進まない理由を確認したい。

新型コロナワクチンの子どもの接種率は現在3割である。当初子どもは罹患しにくく、罹患しても軽症者が多かったため、子どもへの予防接種が遅れたと認識しているが、変異株により状況が変わっているため積極的に勧奨していきたい。インフルエンザについては、ここ数年、抗体価の低下が懸念される。脳症を発症する確率は成人より高いので、インフルエンザワクチンの積極的な接種についても、国へ働きかけていく。

2 報 告

1) すべての医療従事者のための子ども虐待対応ハンドブック並びにリーフレット及び生活習慣病予防教育等推進のための教材について（福岡県）

福岡県から、子ども虐待防止および生活習慣病予防教育の推進に係る取組みとして実施した内容について報告があった。

3 中央情勢報告

渡辺日医常任理事から中央情勢報告があった。

第11期中央教育審議会の下部組織として、GIGAスクール構想に基づいたデジタル教科書の作成などのためのワーキンググループが設置されている。推進にあたり留意すべき点や効果の検証、リスクの有無などについて協議する。デジタル教科書は令和6年度から本格導入を予定しているが、高学年の一部科目からの導入が検討されている。

文科省内のいじめ防止対策協議会におい

ては、重大事態の定義、ガイドラインを見直すとの動きがある。生命、心身、財産に重大な被害が生じた際、「疑いの段階」から対応するという点で学校現場が苦勞しているとのことであった。教職員への理解の促進と同時に、学校、地域、家庭がうまく連携しないと難しいと思われる。

学校における医療的ケアの実施体制に関する取組みについて、文科省が令和4年3月に事例集を発行した。学校での医療的ケア児の受け入れについては、学校看護師がなかなか見つからないという問題があり、医療的ケアができる看護師の育成について事業を進めている。

成育医療等協議会においては、成育医療等基本方針の見直しに向けた論点が整理され、その中でプレコンセプションケアの推進が挙げられている。SNSの普及などにより性に関するさまざまな情報がある中、男女ともに正しい知識を身につけ、健康管理を促すことを目的とした健康相談支援サイト「スマート保健相談室」が令和4年3月に公開されている。

日本学校保健会では、感染症の流行状況がマップで分かるように、機能を強化する。かねてより課題となっている校務支援システムとの連携について、徐々に改善していく予定だが、コロナ第7波に間に合わなかった。日医、文科省と連携していきたい。

令和3年度児童生徒の近視実態調査においては、学年が上がるにつれて視力の低下割合が増えているが、家庭でのゲーム時間が長くなっていることが要因として挙げられる。

出席者－河野会長、小牧副会長、高木常任理事
野尻課長、横山・荒川主事

第66回九州ブロック学校保健・学校医大会並びに 令和4年度九州学校検診協議会（年次大会）

と き 令和4年7月31日(日)

ところ ホテルニュー長崎（Web開催）

メインテーマ：「多様化する社会と子どもたちの未来」

7月31日に、第66回九州ブロック学校保健・学校医大会ほか関連行事がホテルニュー長崎およびオンライン配信にて開催された。31日午前に開催された令和4年度九州学校検診協議会では、心臓、腎臓、成長発育・小児生活習慣病等、運動器の各部門の教育講演が行われた。

心臓部門では、「若年者の心肺蘇生事例と突然死予防－九州地区の院外心停止事例からわかること－」と題し、国立病院機構鹿児島医療センター小児科、小児科医師/九州学校検診協議会専門委員会心臓部門座長 吉永正夫先生、腎臓部門では、「腎不全進行抑制のための学校検尿の重要性」と題して、長崎大学病院腎臓内科准教授 牟田久美子先生、成長発育・小児生活習慣病等部門では、「成長曲線を用いた学校検診の現状と課題」と題して、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科小児科学准教授 伊達木澄人先生、運動器部門では、「こどものロコモティブシンドローム」と題して、長崎大学病院整形外科病院准教授 松林昌平先生による講演が行われた。教育講演と並行して開催された分科会では、眼科部門では「長崎県の色覚検査の現状について」と題し、長崎県眼科医会学校保健担当理事・中村眼科医院長 中村宗平先生が、また「盲学校における地域支援の取り組みについて～『視覚支援センターむつぼし』の実践を通して～」と題

し、特別支援教育コーディネーター 濱田恭壽先生による講演が行われた。また、耳鼻咽喉科部門では、「診療ガイドラインに沿った小児中耳炎治療」と題し、長崎大学耳鼻咽喉・頭頸部外科教授 熊井良彦先生、「小児人工内耳医療」と題し、長崎大学耳鼻咽喉・頭頸部外科助教 佐藤智生先生による講演が行われた。

午後からは九州医師会連合会学校医会総会が開催され、次期開催県の福田熊本県医師会長から、第67回大会は令和5年8月6日(日)にホテル日航熊本において開催されることが発表された。

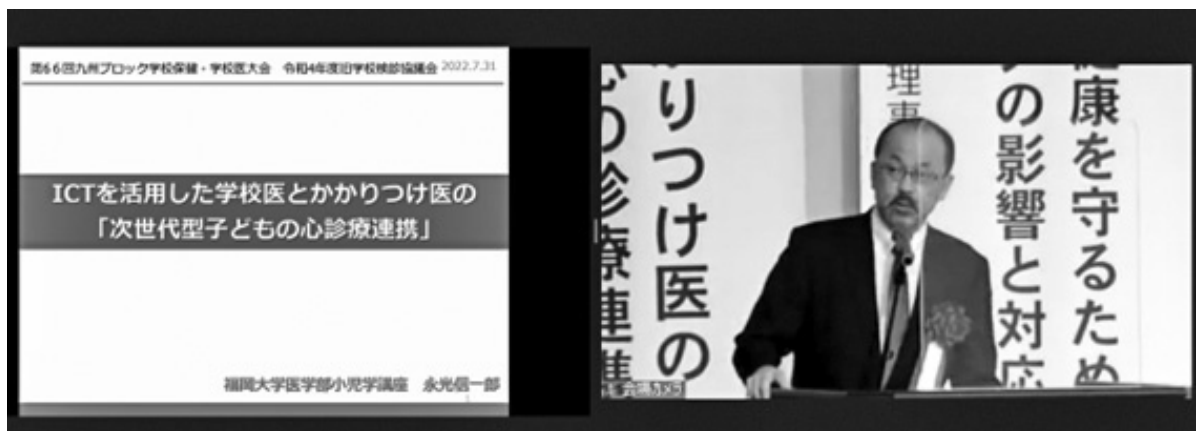
その後、基調講演が開催され、はじめに「GIGAスクール時代の子どもの健康を守るために～電子メディアの影響と対応～」と題し、九州医療センター小児科医長/NPO法人子どもとメディア代表理事 佐藤和夫先生による講演が行われ、子どもが接する電子メディアと心身への影響の関係性について話された。子どもたちがメディアから得るものは少なくないが、接触時間と内容がさまざまな悪影響を及ぼすことが分かっており、乳幼児においては言葉の発達の遅れや認知機能への影響、学童期から思春期においては視力の低下や肥満など身体的な影響のみならず、暴力・攻撃性への影響や学業成績への相関関係が認められると述べられた。また、電子メディアが及ぼす影響の機序について、健全な育成につながる時間を奪ってしまうことと、視聴内容が影響することの2点を挙げられ、親子でメディアリテラシーを育むことの重

要性を説かれ、コロナによりGIGAスクール構想が前倒しで始まり、理念はよいものと思われるが、電子メディアとの付き合い方について、更なる啓発を行っていくことが望ましいと講演された。

続いて「ICTを活用した学校医とかかりつけ医の『次世代型子どもの心の診療連携』」と題し、福岡大学医学部小児科学講座主任教授 永光信一郎先生の講演が行われ、学校医が思春期の子どもの心のゲートキーパーになれるのではないかと述べられた。2020年に新型コロナウイルス感染症の流行が始まったが、それ以前から、児童・生徒の不登校と自殺者数は増加傾向

にあった。これまで潜在化していたさまざまな家庭、学校での問題がコロナにより顕在化したとも言え、メンタルヘルス疾患の治療は専門の精神科の医師に依頼するものの、メンタルヘルス・リスク行動の予防は、小児科医が役割を担えるのではないかと考え、その前提でアプリを開発したと述べられた。子どもたちが入力したデータから、うつスコアが高い子たちがどういったキーワードを入力しているか抽出し、ハイリスク群を早めにピックアップして、医療機関につなげることができると述べられた。

出席者－高木常任理事、横山主事



お知らせ

地球温暖化防止対策（クールビズ）の実施について

宮崎県医師会では、地球温暖化防止に向けて、**5月1日から10月31日**までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装（クールビズ）の実践に取り組めます。

会議などの場合でも軽装（ノーネクタイ・半袖など）で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

第123回九州医師会連合会定例委員総会

と き 令和4年8月27日(土)

ところ ホテル日航大分オアシスタワー

< 次 第 >

1 開 会

2 挨 拶

1) 前九州医師会連合会長

沖縄県医師会長 安里 哲好

2) 九州医師会連合会長

大分県医師会長 河野 幸治

3 来賓祝辞

1) 日本医師会長

代理 日本医師会 副会長 茂松 茂人

2) 日本医師連盟選出国會議員

参議院議員 羽生田 俊

参議院議員 自見はなこ
(祝電披露)

4 記念品贈呈

本年6月に日本医師会代議員会議長を退任された佐賀県の池田秀夫先生、大分県医師会長を退任された近藤稔先生に、記念品として別府の伝統工芸品「竹清作 花籠No.11」を贈呈することが報告された。

5 座長選出

慣例により、九州医師会連合会の会長である河野会長(大分県医師会長)が選出された。

6 報 告

1) 第402回常任委員会について

河野九医連会長より、はじめに事務引継ぎについて、8月2日にWeb会議にて滞りなく終了したこと。次に、第123回定例委員総会について、第1号議案から第7号議案を本定例委員総会に提案すること。



また、九州医師会医学会の開催県について、次回第123回令和5年度開催を長崎県に決定、次々回第124回令和6年度開催を熊本県に内定したこと。最後に、中国四国医師会連合会隣接ブロック当番県医師会長会議について協議したことが報告された。

2) 令和3年度九州医師会連合会庶務並びに事業報告について

宮里達也委員(沖縄県)より、沖縄県医師会が担当となり実施した令和3年度の九州医師会連合会の事業等について報告があった。

7 議 事

第1号議案 令和3年度九州医師会連合会歳入歳出決算に関する件

第2号議案 令和4年度九州医師会連合会事業計画に関する件

第3号議案 令和4年度九州医師会連合会負担金賦課に関する件

第4号議案 令和4年度九州医師会連合会歳

入歳出予算に関する件

第5号議案 令和4度九州医師会連合会監事
(2名)の選定に関する件

第6号議案 令和4年度第122回九州医師会
医学会事業計画に関する件

第7号議案 令和4年度第122回九州医師会
医学会会費賦課に関する件

第1号から第4号議案、第6号、第7号議
案については、原案どおり承認された。

第5号議案の令和4年度の監事(2名)に

ついては、慣例により、担当県の隣県である
福岡県、宮崎県から選出することが承認さ
れ、事前に推薦された瀬戸裕司委員(福岡
県)、小牧斎委員(宮崎県)が選定された。

8 閉 会

出席者一河野会長、山村・小牧副会長、
吉田・市来・荒木常任理事
竹崎事務局長、久永・松本課長、
畠中(ま)・畠中(麻)主事

医師年金アンケート（認知度調査）にご協力をお願いします

日本医師会では、日本医師会年金（医師年金）に関しまして、普及推進策を検討するためのデータの収集を目的に、医師年金制度のアンケート（認知度調査）を実施します。

所要は数分です。医師年金の加入の有無にかかわらずご回答いただけます。

- 回答方法：以下のURLかQRコードからご回答ください

<https://forms.gle/Qud6sTdnjoCJjzX67>

- 回答締切：令和4年10月31日入力分まで

担当：日本医師会 年金福祉課

☎ 03-3942-6487（直）（平日9：30～17：00）

日本医師会



医師年金

日医インターネットニュースから

■オミ株ワクチン、今月半ばから国内配送 — 4回目接種の切り替えに使用 —

加藤勝信厚生労働相は9月2日夜に会見し、薬事審査を進めているファイザー、モデルナの新型コロナウイルスのオミクロン株対応ワクチンについて、「製薬企業と交渉、調整を進めてきた結果、輸入等が一部前倒しされることとなり、欧米に遅れることなく、わが国でも9月半ば過ぎから国内配送を開始できる見込みとなった」と述べた。従来は、10月半ばに接種開始予定としていた。前倒し分のオミ株ワクチンはまず、60歳以上や医療関係者らを対象に現在実施中の4回目接種で、従来型ワクチンからの切り替えに用いる。

4回目接種は全体として、従来型ワクチンとオミ株ワクチンが混在することになる。対象者の中には、オミ株ワクチンの登場を待つ人も出てくる可能性がある。ただ、重症化リスクの高い人が含まれていることを踏まえ、厚生労働省としては、接種の時期が来た人は現在接種可能なワクチンを速やかに受けてほしいとの姿勢だ。

4回目接種の完了に一定のめどがついた自治体については、配送ワクチンの範囲内で、1・2回目接種を受けているエッセンシャルワーカーへの接種も認める方向だ。

1・2回目接種を終えている12歳以上の全ての人を対象としたオミ株ワクチン接種は、10月半ばごろに開始できるよう、国と自治体で準備を進める。

●従来型ワクチンを上回る予防効果が期待

厚労省は2日に開いた厚生科学審議会・予防

接種・ワクチン分科会（分科会長＝脇田隆字・国立感染症研究所長）で、オミ株ワクチン接種の考え方を提示。オミ株ワクチンについて、▽従来型ワクチンを上回る重症化予防効果が期待される▽短い期間の可能性はあるものの、オミ株に対する感染・発症予防効果が期待される▽誘導される免疫がより多様なコロナウイルスに反応する—との見解も報告した。

釜范敏委員（日本医師会常任理事）は、オミ株ワクチンを待つ人が出てくる可能性に触れた上で、従来型ワクチンをすでに接種できる人は接種を進めるべきとの見解を示した。

●5～11歳の3回目接種、5カ月経過後

先月30日にファイザーの5～11歳用ワクチンの3回目接種が薬事承認されたことを踏まえ、分科会では5～11歳の3回目接種の在り方も議題になった。

分科会は、3回目接種を特例臨時接種に位置付けることを了承。対象者は「2回接種を終了した全ての児」とし、接種間隔は2回目から「少なくとも5カ月経過した後」とする。3回目接種でも努力義務を適用する方向で意見がまとまった。近く3回目接種が始まる見通しだ。

（令和4年9月6日）

■後期2割負担、請求複雑化に対応周知 — 厚労省 —

10月からの一定所得以上の後期高齢者の医療費窓口負担割合引き上げまで1カ月となった。厚生労働省は、特に負担割合見直しに伴い外来での窓口負担を一定額以内に抑える配慮措置に

関する請求手続きなどについて周知を進めている。医療機関の負担にも配慮し、配慮措置に関する計算が誤ったレセプトに関しては、審査支払機関で修正するなど「柔軟な扱い」を検討するよう求めている。

課税所得が28万円以上かつ年金収入とその他の合計所得金額が200万円以上など、一定所得以上の後期高齢者の窓口負担は、10月から2割に引き上げられる。厚労省によると、10月からの窓口負担割合引き上げの対象となるのは、被保険者全体の約20%。今月中に後期高齢者医療広域連合または市区町村から、10月以降の窓口負担割合が記載された被保険者証が交付される予定だ。

窓口負担割合引き上げの対象となる人は、25年9月末までの間は1カ月の外来医療の窓口負担の増加分を3000円までに抑える配慮措置を設ける。1カ所の医療機関で、外来受診した際の窓口負担額を「1割+3000円」までとし、残りは保険請求する扱いとなる。医療機関では、診療日ごとにその月の外来診療報酬点数の合計を計算し、配慮措置の対象となる場合（月の合計が3000～1万5000点）は、配慮措置によるその月の窓口負担上限額を計算した上で、前回診療までの窓口負担額の合計との差額を徴収する必要がある。

その上で、1カ月の間に複数の医療機関・薬

局などで支払った窓口負担額が合計で1割+3000円を超えた場合は、差額を患者本人に高額療養費制度の仕組みを用いて償還払いする取り扱いとなる。今後、10月以降の窓口負担割合が記載された被保険者証を交付するのに合わせて、配慮措置の対象となる人には高額療養費制度への事前登録を呼びかけることになる。

●誤ったレセプト、柔軟な取り扱いを要請

窓口負担割合の引き上げや配慮措置の導入に伴う医療機関での計算が複雑になることを踏まえ、厚労省は広域連合に対し、配慮措置に関する計算が誤ったレセプトについて、医療機関に返戻するのではなく、可能な限り審査支払機関で修正するなど柔軟に取り扱うよう要請している。最終的には広域連合と審査支払機関である国保連合会との間で調整を進めることになるが、厚労省保険局高齢者医療課は「配慮措置の導入は初めてのことなので、医療機関の事情なども踏まえた対応を進めてほしい」としている。

このほか、広域連合に対してはレセプトの作成に関する医療機関などからの照会に積極的に応じることも求めている。また、レセコンの改修に関しても保健医療福祉情報システム工業会（JAHIS）に対し、適切な改修を進めるよう要請しており、医療機関でも施行に向けた適切な改修を進めるよう求めている。

（令和4年9月6日）

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。

日本医師会（<http://www.med.or.jp/>）>メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）

◆パスワード：生年月日の「西暦の下2桁、月2桁、日2桁」の6桁の数字（半角）

医師国保組合だより

保健事業のご案内

実施期間：令和5年3月末日まで 請求期限：令和5年5月19日まで（必着）

1 健康診断（特定健診）・特定保健指導 ※無料です

健康診断（特定健診）

◆対象者

組合員・高齢組合員およびその配偶者 ※配偶者は75歳の誕生日前日まで

上記以外の被保険者は、年度中に40歳～74歳になる方（年度中に75歳になる75歳未満の方を含む）

※年度中に40歳になる方～74歳の方は、特定健診対象者です。

◆日曜健診について

宮崎市郡医師会病院健診センターにて日曜日の健診を実施しています。

上記対象者ならどなたでもご利用できますので、ぜひご予約ください。



ご予約は当組合へ（☎0985-22-6588）

スマホからWeb申込もできます！⇒

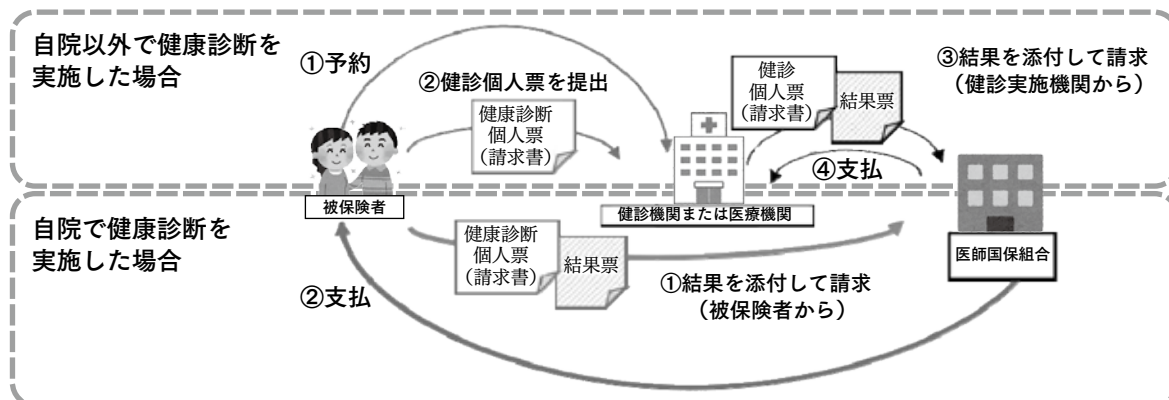
年	月 日	健 診 (定員各30名)	オプション		
			胃内視鏡検査 (定員各5名)	低線量ヘリカルCT 肺がん検診 (定員各5名)	マンモグラフィ検査 (定員若干名)
令和4年	11月27日	○	×	×	○
	12月11日	○	×	×	○
令和5年	1月22日	○	×	×	○
	2月19日	○	×	×	○
	3月5日	○	×	×	×
	3月12日	○	○	○	×

（令和4年9月15日現在） ○：予約可，×：予約不可

◆自家健診について

健康診断（特定健診を含む）を自院で実施しても当組合に請求することができます。

その際は、健康診断個人票（黄色）の必須検査項目（★印の項目）を必ず実施してください。



特定保健指導**◆対象者**

対象者には、当組合より利用券を送付します。

特定保健指導のご案内が届いた方は対象施設にご予約ください。

2 インフルエンザワクチン接種補助**◆対象者**

被保険者全員並びに高齢組合員

◆補助金額

1人1回2,000円（高齢組合員は1,000円）

3 その他保健事業

請求方法などの詳細は、組合員宛に送付しております「保健事業のご案内」、または、当組合Webサイトをご覧ください。

- 1) 胃・大腸内視鏡検査の補助
- 2) 脳ドックなどの補助
- 3) 肺炎球菌ワクチン接種補助
- 4) 低線量ヘリカルCT肺がん検診（無料）
- 5) 乳がん検診（マンモグラフィ検査）の補助
- 6) 歯科健康診査（無料）

申請書は、
当組合Webサイトからもダウンロードできます。
<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>

医師国保組合からのお知らせ

<医師国保組合へのご加入について>

会員の先生にとって、廉価な保険料で充実した保健事業を提供する医師国保組合への加入をご検討ください。詳細については、当組合までお問合せください。

<健康保険適用除外申請の手続きについて>

医師国保組合にすでにご加入の方は、事業所が法人化するなどで健康保険の適用となる場合でも、健康保険適用除外の承認を受けることにより、引き続き当組合に残ることができます。

健康保険の適用除外承認申請が必要になったときは、事実の発生した日から必ず14日以内に年金事務所に届け出なければなりませんので、まずは当組合までお問い合わせください。

（問合せ先）宮崎県医師国民健康保険組合
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地
TEL：0985-22-6588 FAX：0985-27-6550



第31回 日本医学会総会 2023 東京

ビッグデータが拓く未来の医学と医療
～豊かな人生100年時代を求めて～

早期事前参加登録受付中
2022年10月31日(月)まで

事前参加登録者の特典として、事前webinar等の各種企画にご参加いただけます

会期

(学術集会) 2023年 4月21日(金)～23日(日)

(学術展示) 2023年 4月20日(木)～23日(日)

(博覧会) 2023年 4月15日(土)～23日(日)

会場

東京国際フォーラム および 丸の内・有楽町エリア

会頭

春日 雅人 朝日生命成人病研究所 所長
国立国際医療研究センター 名誉理事長

事務局

〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学医学部附属病院 中央診療棟2(8F)
TEL | 03-5800-8971 FAX | 03-5800-6412 E-mail | office@isoukai2023.jp

<http://isoukai2023.jp/>





令和4年8月2日(火) 第10回常任理事協議会

医師会関係 (議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎県医療審議会委員の推薦について

→医療法に基づく諮問機関として設置される審議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き河野会長と山村副会長を推薦することが承認された。

②宮崎県介護支援専門員スキルアップ事業における宮崎県介護支援専門員研修向上委員会の委員等の推薦について

→介護支援専門員の研修の評価や見直しを検討する委員会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き県介護支援専門員協会の牛谷会長を推薦することが承認された。

2. 後援・共催名義等使用許可について

①11/19(土)・20(日) (宮大医学部) 第18回清花祭 (きよかさい) 清武キャンパス医学展の名義後援について

→宮崎大学学園祭の清花祭において医学部の学生が医学・医療に関する展示発表を行う医学展で、名義後援を行うことが承認された。

②10/16(日) (県総合保健センター)「運動器の健康 市民公開講座 ひむか骨と関節を考える会」の名義後援について

→運動器の障害や予防法について市民の理解を深めることを目的に開催される公開講座で、名義後援を行うことが承認された。

③「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2022 宮崎」に関する後援名義使用承認のお願い →がん制圧の大切さを社会に訴えるイベントで、名義後援を行うことが承認された。

3. 日本医師会の委員会委員の委嘱について (医療秘書認定試験委員会)

池井常任理事に医療秘書認定試験委員会の委員を委嘱したいと依頼があり、承認した。

4. 9/20(火) 令和4年度第1回都道府県医師会長会議の開催について

河野会長が出席することが承認された。また、今回のテーマである「新型コロナウイルス感染症に対する医療提供体制」に関し質問があれば、事務局に届け出、取扱いについては会長一任とすることが承認された。

5. 9/27(火) 第1回各都市医師会長協議会の開催について

開催することと、各都市医師会に対し質問および提案事項を照会することが承認された。また、役員から議題があれば事務局に提出することとなった。

6. 10/1(土) (大分市)「九州医師会連合会第403回常任委員会」並びに「九州医師会連合会令和4年度第1回各種協議会」の開催について

常任委員会については、河野会長が出席することが承認され、議題があれば事務局経由で会長に提出し、取扱いについては会長に一任することが承認された。各種協議会については、提案事項の取りまとめ等の担当として、地域医療対策協議会は金丸常任理事、医療保険対策協議会は嶋本常任理事、介護保険対策協議会は石川常任理事が務めること、出席者については、後日事務局から照会することが承認された。

(報告事項)

1. 7月末日現在の会員数について
2. 7/26(火) (県医) 日医理事会他について
3. 7/30(土) (県医) 九医連常任委員会について
4. 7/21(木) (県医) 広報委員会について
5. 7/25(月) (県庁) 県個人情報保護審議会について
6. 8/21(日) 第53回中四九地区医師会看護学校協議会への助成金交付について(変更)
7. 7/24(日) (県医) 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会について
8. 7/26(火) (県防災庁舎) 県認知症疾患医療センター指定医療機関選考委員会について
9. 8/1(月) (県医) 生活習慣病検診各部長連絡協議会について
10. 7/30(土)・31(日)他 第66回九州ブロック学校保健・学校医大会他関連行事について
11. 7/26(火) (九州厚生局宮崎事務所) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
12. 7/27(水) (宮崎労働局) 労災診療指導委員会について
13. 7/21(木) (県庁) 社会保険医療担当者の新規個別指導について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 8/9(火) (県医) 各都市医師連盟委員長協議会
当日の進行等が説明され開催することが承認された。
2. 8/20(土) (JA-AZM) 選挙対策委員会の開催について
河野委員長が出席することが承認された。
3. 9/3(土) (メディキット県民文化センター) 自由民主党宮崎県政経セミナー2022セミナー券の販売協力について
協力をすることが承認された。

(報告事項)

1. 7/22(金) (宮観ホテル) 自民党県連国・県に対する政策・予算等要望ヒアリングについて

令和4年8月9日(火) 第5回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 令和5年度地域医療介護総合確保基金(医療分)に係る事業提案について

「地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備」、「居宅等における医療提供」、「医療従事者等の確保」、「勤務医の労働時間短縮に向けた体制の整備」に関する事業提案を、各郡市医師会、各専門分科医会、県医師会病院部会、県精神科病院協会、県有床診療所協議会に照会することが承認された。

2. 「令和5年度病床機能等分化・連携促進基盤整備事業」及び「病床の機能分化・連携を推進するための基盤整備」に係る事業実施意向調査について

急性期病棟から回復期病棟へ転換や病床の削減等に対する補助事業の意向調査で、各郡市医師会を通じて調査に協力することが承認された。

3. 後援・共催名義等使用許可について

①11/22(火) (宮日会館) 過労死等防止対策推進シンポジウムの後援名義使用承認申請について

→過労死の防止を目的に開催されるシンポジウムで、名義後援を行うことが承認された。

②9/30(金) (県総合保健センター) SBIRTS(エスパーツ)普及推進セミナーの後援依頼について

→問題飲酒者に対してスクリーニングテストを実施し、依存症の疑いがあれば、専門医療機関や自助グループに紹介するSBIRTSの普及推進のための研修会で、名義後援を行うことが承認された。

4. 県医師会の各種委員会について

本会に設置される30の委員会について、定款第57条及び県医師会委員会規程に基づ

き、委員構成及び委員長・副委員長を決定した。

5. 業務委託について

①令和4年度新型コロナ自宅療養者への健康観察体制確保業務の委託契約について
→4月1日付けで締結済みの契約について、健康観察対応者数が想定より多かったため委託料を増額するための変更契約を締結することが承認された。

②宮崎市多胎妊婦健診に係る委託契約について

→多胎児を妊娠している妊婦に対し、単胎で妊娠した場合より追加で5回を限度に妊婦健診を行う業務で、委託契約を締結することが承認された。

6. 母体保護法指定医の指定申請について

新規指定1名の申請を母体保護法指定医師審査委員会の答申通り指定することが承認された。

7. 11/21(月)・22(火)(宮崎市)令和4年度九州八県赤十字大会開催にかかる救急医療体制について

開催地の宮崎市郡医師会にも情報提供することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 8/9(火)(県医)都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会について

3. 8/6(土)(県医)在宅医療協議会総会・研修会について

4. 8/7(日)(県医)日医かかりつけ医機能研修制度応用研修会について

5. 8/8(月)(県医)地域医療現場における働きやすい環境を考える会について

6. 7/23(土)(県医)労災部会総会について

令和4年8月30日(火) 第6回全理事協議会

初めてのWeb会議システム(Zoom)を利用した理事協議会であるため、会議冒頭に、会長から、会の進行や注意事項の確認を行った。

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎産業保健総合支援センター運営協議会委員の推薦について

→産業保健総合支援センターの効率的・効果的な運営のために設置される協議会の委員について、本会の役員変更に伴う推薦依頼があり、大塚常任理事と吉見常任理事を推薦することが承認された。

②宮崎産業保健総合支援センターの運営主幹の推薦について

→産業保健活動の支援に係る助言や調整を行う「運営主幹」について、本会の役員変更に伴う推薦依頼があり、吉見常任理事を推薦することが承認された。

③宮崎県障害者施策推進協議会委員の推薦並びに後任の就任承諾について

→障がい者に関する施策の総合的かつ計画的な推進を目的に設置される協議会の委員について、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き山村副会長を推薦することが承認された。

④令和6年度全国学校保健・安全研究大会宮崎大会準備委員会の委員推薦について

→令和6年度に本県で開催される全国学校保健・安全研究大会宮崎大会の準備委員会委員の推薦依頼があり、高木常任理事を推薦することが承認された。

2. 会費減免申請について

研修医95名の会費減免(日医及び県医)申請が承認された。

3. 9/9(金)県医師会役職員緊急連絡網の訓練について

災害時に本会役職員の安否確認するためのメールシステムの通信訓練を9月9日(金)に実施することが承認された。

4. 後援・共催名義等使用許可について

①R5.2/4(土)(宮崎市)日本医療マネジメント学会第15回宮崎県支部学術集会後援

名義依頼について

→「コロナ禍からの脱却を見据えて」をテーマに開催される学術集会で、名義後援を行うことが承認された。

②11/6(日)(宮崎市)宮崎県皮膚科医会講演会の開催について(名義後援依頼)

→例年11月12日の「いい皮膚の日」の前後に一般の方への啓発活動として開催される講演会で、名義後援を行うことが承認された。

③9/23(金)(延岡市)「日本医師事務作業補助者協会 第17回宮崎地方会」名義後援申請について

→医師事務作業補助者のスキルアップのために「医師事務マネジメント 教えてQ&A」をテーマに開催される研修会で、名義後援を行うことが承認された。

5. 10/25(火)(県医)宮崎県福祉保健部・病院局と宮崎県医師会との意見交換会の開催について

県に対し来年度の要望をすることを主な目的として本会主催で開催することが承認された。要望内容については、各郡市医師会にも照会し、担当役員が各郡市医師会の意見を含め簡潔に取りまとめることとなった。

6. 9/17(土)(県医)第72回全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会等の開催について

医療秘書学院を設置する都道府県医師会をもって組織される協議会で、山村副会長と池井常任理事がWeb会議で出席することが承認された。

7. 11/19(土)(県医)令和4年度日本医師会女性医師支援・ドクターバンク連携九州ブロック会議の開催について

「医師のキャリア支援と医師確保の取り組み」をテーマにした各県医師会からの報告等を行う会議で、荒木常任理事と上山理事がWeb会議で出席することが承認された。

8. 10/15(土)(名古屋市)令和4年度全国医師会勤務医部会連絡協議会の開催について

「医薬新時代を切り開く勤務医の矜持～

コロナを克(こ)えて～」をテーマに開催される協議会で、嶋本勤務医部会長と田畑・山中理事が出席することが承認された。

9. 9/8(木) 令和4年度都道府県医師会社会保険・情報システム担当理事連絡協議会の開催について

オンライン資格確認に関する説明などが行われる協議会で、荒木・嶋本常任理事がWeb会議で出席することが承認された。

10. 9・10月の行事予定について

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 8/23(火)(県医4階)日医理事会他について

3. 8/27(土)(大分)九医連常任委員会について

4. 8/28(日) 全国有床診療所連絡協議会役員会について

5. 8/29(月)(県庁)県立病院事業評価委員会について

6. 8/11(木)(県庁)新型コロナウイルス感染症に関する記者会見について

7. 8/18(木)(県庁)県国民健康保険運営協議会について

8. 8/17(水)・8/22(月)(県医)広報委員会について

9. 8/29(月)(県電ホール)県地域医療対策協議会について

10. 8/27(土)(大分)九医連定例委員総会について

11. 7/9(土)(シーガイア)県専門研修プログラム合同説明会について

12. 7/10(日)(福岡市)レジナビフェア2022福岡について

13. 8/20(土)(JA-AZM本館)県訪問看護ステーション連絡協議会総会・研修会について

14. 8/29(月)(県医)県認知症疾患医療センター合同会議について

15. 8/22(月)(県医)学校医部会総会・医学会について

16. 8/21(日)(都城市)中四九地区医師会看護学校協議会について

17. 8/10(水)～14(日) (県立美術館) 第23回医家芸術展について
18. 7/28(木) (県医) 勤務医部会理事会について
19. 8/25(木) (県医) 勤務医部会総会・前期講演会について
20. 8/20(土) (県医) 産業医研修会 (前期) について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 9/12(月) (東京) 敬人会勉強会について
「医療DXの推進と医療の未来」をテーマに開催される勉強会で、協力することが承認された。

2. 10/30(日) (都城市) 日本創造研究会主催「第13回特別セミナー」について

「日本の未来を考える」をテーマに開催されるセミナーで、協力することが承認された。

(報告事項)

1. 8/20(土) (JA-AZM別館) 自民党県連選挙対策委員会について
2. 8/9(火) (県医) 各都市医師連盟委員長協議会について
3. 8/27(土) (大分) 九州医連連絡会執行委員会について

9月のベストセラー (宮崎県)

集計：2022年9月1日～9月26日

1	その本は	又 吉 直 樹	ポ プ ラ 社
2	沈黙のパレード	東 野 圭 吾	文 春 文 庫
3	ハヤブサ消防団	池 井 戸 潤	集 英 社
4	小説 すずめの戸締り	新 海 誠	KADOKAWA文庫
5	80歳の壁	和 田 秀 樹	幻 冬 舎 新 書
6	ジェイソン流お金の増やし方	厚 切 り ジェイソン	ぴ あ
7	アイドル2.0	コムドットやまと	講 談 社
8	ストレス脳	アンデシュ・ハンセン	新 潮 社 新 書
9	人は話し方が9割	永 松 茂 久	す ば る 舎
10	20代で得た知見	F	KADOKAWA

県医師会館大規模修繕工事開始について

このたび、宮崎県医師会館は、竣工から15年目の大規模修繕工事を実施します。
工事中は、騒音や駐車場の減少などご迷惑をおかけいたします。
安全確保に十分な対策をしましてまいりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

1 工事内容

1) 防水工事

屋上、塔屋、北側2～3階底、2階テラス、外壁部など

2) 外壁工事

外壁タイル修繕工事

3) 金属工事

2階テラス・ドア底、正面玄関柱、屋上ELV換気ダクトなど

4) 内装工事

1階天井不陸箇所等修繕

5) 塗装工事

金属劣化箇所および西側コンクリート面

6) 電気工事・その他

東駐車場照明の更新およびその他の追加工事など

2 工事期間

9月12日から2月初旬（予定）

工程（予定）

- | | |
|-----------|-------------------|
| ・工事事務所設置 | 9月12日 |
| ・資材搬入など準備 | 9月下旬 |
| ・屋上修繕工事 | 10月初旬 ～ 1月中旬 |
| ・外壁修繕工事 | 西・北面 9月下旬 ～ 11月下旬 |
| | 東・南面 11月下旬 ～ 1月下旬 |
| ・工事事務所撤去 | 2月初旬 |

3 工事時間

8：00～17：00

※ 近隣住民への配慮および会議・研修会などへの影響をできるだけ減らすため、土・日・祝および平日17：00以降は原則作業をしません。

4 施工会社

西松建設株式会社 九州支社 宮崎建築出張所

県 医 の 動 き

(9月)

1	県内科医会医療保険委員会 (Web会議) (玉置理事)
2	日医年金委員会 (Web会議) (会長) 認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会 (Web会議) (石川常任理事)
3	(延岡) 県産婦人科医会新生児蘇生法講習会 県医師会医学会 (Web会議) (山村副会長他) 県選出国会議員と県経済団体協議会との協議 (河野委員長)
4	県小児科医会役員会 (Web会議) (高木常任理事)
5	日本医学会総会第3回地域別会合 (Web会議) (嶋本常任理事)
6	母体保護法指定医師審査委員会 (小牧副会長他) 第11回常任理事協議会 (会長他)
8	都道府県医師会社会保険・情報システム担当 理事連絡協議会 (Web会議) (荒木常任理事他) 県慢性腎臓病対策推進会議 (Mz-CKDI) 代表 者会議 (池井常任理事) 県産婦人科医会常任理事会 (Web会議) (嶋本常任理事他) 県糖尿病対策推進会議小幹事会 (Web会議) (金丸常任理事)
9	県外科医会秋期講演会 (Web会議) (田畑理事) 県産婦人科医会医療保険委員会 (嶋本常任理事)
10	県小児科医会子ども健康セミナー (Web会議) (高木常任理事)
11	河野しゅんじ後援会会長会議 (河野委員長)
13	第7回全理事協議会 (Web会議) (会長他)
14	支払基金支部運営委員会 (会長) 広報委員会 (荒木常任理事他)
15	医学会誌編集委員会 (Web会議) (小牧副会長他)
17	県産婦人科医会秋期総会・市民公開講座 (Web 会議) (嶋本常任理事) 全国医師会医療秘書学院連絡協議会常任委員会 (Web会議)

17	全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会・ 運営委員会 (Web会議)
20	日医監事会 (Web会議) (会長) 日医役員勉強会 (Web会議) (会長) 日医理事打合せ (Web会議) (会長) 日医理事会 (Web会議) (会長) 都道府県医師会長会議 (Web会議) (会長) 県新型コロナウイルス感染症対策協議会 (山村副会長他) 県内科医会理事会 (Web会議) (玉置理事)
21	広報委員会 (荒木常任理事他)
24	産業医研修会 (前期) (吉村理事)
25	人体シミュレータを用いた小児在宅医療実技 講習会 (石川常任理事他)
26	園医部会総会・研修会 (Web会議) (高木常任理事他) 県内科医会会誌編集委員会 (Web会議) (玉置理事)
27	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 (嶋本常任理事) 医協理事会 (河野理事長他) 医協理事・運営委員合同協議会 (河野理事長他) 第8回全理事協議会 (会長他) 各郡市医師会長協議会 (Web会議) (会長他)
28	全国国保組合協会理事長・役員研修会 (Web 会議) (秦理事長) 労災診療指導委員会 (赤須常任理事他)
29	宮大医学部医の倫理委員会 (大塚常任理事) 社会保険医療担当者の集团的個別指導 (石川常任理事)
30	県個人情報保護審議会 (荒木常任理事) 医師国保組合理事会 (秦理事長他) 三師会懇談会 (河野委員長他)

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和4年9月1日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとりの情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み・お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 14人

1) 男性医師求職登録数 10人 (人)

希望診療科目	求 職 数	常 勤	非 常 勤
内 科	7	5	2
精 神 科	1	1	0
老 健	1	0	1
検 診	1	0	1

2) 女性医師求職登録数 4人 (人)

希望診療科目	求 職 数	常 勤	非 常 勤
内 科	3	0	3
検 診	1	0	1

2. 斡旋成立件数 86人 (人)

	男 性 医 師	女 性 医 師	合 計
令 和 4 年 度	1	0	1
平成16年度から累計	62	24	86

3. 求人登録 83件 297人 (人)

募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤
内 科	79	65	14	消 化 器 外 科	3	2	1
外 科	24	20	4	乳 腺 外 科	3	3	0
整 形 外 科	30	23	7	健 診	3	2	1
精 神 科	9	8	1	泌 尿 器 科	5	3	2
脳 神 経 外 科	10	6	4	産 婦 人 科	1	1	0
循 環 器 科	11	8	3	検 診	3	1	2
消 化 器 内 科	12	11	1	皮 膚 科	4	2	2
麻 酔 科	12	9	3	婦 人 科	2	2	0
眼 科	9	7	2	呼 吸 器 外 科	4	3	1
放 射 線 科	9	8	1	人 工 透 析	8	6	2
小 児 科	4	2	2	リ ウ マ チ 科	0	0	0
呼 吸 器 科	2	2	0	臨 床 病 理 科	1	1	0
在 宅 診 療	2	2	0	形 成 外 科	2	1	1
総 合 診 療 科 ・ 内 科	5	4	1	診 療 科 目 不 問	3	3	0
脳 神 経 内 科	7	5	2	緩 和 ケ ア	1	1	0
呼 吸 器 内 科	9	8	1	内 分 泌 糖 尿 病 内 科	2	2	0
リハビリテーション科	4	4	0	そ の 他	5	5	0
救 命 救 急 科	9	9	0	合 計	297	239	58

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	宮崎県赤十字血液センター	宮崎市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳外,整,放,麻,内	9	常勤・非常勤
160017	医)宮崎博愛会 さがら病院宮崎	宮崎市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	呼内,神内,総診,呼外,病理,乳外,整,麻,代内	9	常勤
170048	社医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内,放	2	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	6	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外	2	常勤
190095	社医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	社医)善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	内,外,救急,呼外,婦人,整,麻	12	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230144	宮崎医療生活協同組合	宮崎市	呼内,消内,健診,麻	7	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮崎市	内,外,整,脳外,リハ,麻,救急,緩和	13	常勤
230148	医)コムロクリニック	宮崎市	美外,形成外,外,麻(いずれか)	2	常勤・非常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	3	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放(いずれか)	1	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230194	医)財団シロアム 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	高岡町	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
230213	医)聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	宮崎市	泌,内,透(いずれか)	1	常勤
230214	医)聖美会 青島リゾートクリニック	宮崎市	内,リハ(いずれか)	1	常勤
230215	医)社団紘和会 平和台病院	宮崎市	糖尿内,消内	3	常勤
230217	医)けいあい かいクリニック	宮崎市	内,整	4	常勤・非常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内,消内,整,神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	外,脳外,内,透,眼皮,放,腎内,総診,泌,整	22	常勤・非常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	呼内,総診,消内,腫内	4	常勤
190092	都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	5	常勤
210114	一社)藤元メディカル藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	消内,消外,乳外	5	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230162	一社)藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内,透,循内,救急,放,呼内	12	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都城市	内	1	常勤
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三股町	内	1	常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	内	1	常勤・非常勤

登録番号	施 設 名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230199	医)社団アブラハムクラブ ベテスタクリニック	都 城 市	糖内,心内	2	常勤
230208	医)社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三 股 町	内	1	常勤・非常勤
230216	一社)藤元メディカルシステム大悟病院	三 股 町	精,内	2	常勤
160012	医)伸和会 延岡共立病院	延 岡 市	内	2	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延 岡 市	精	1	常勤
160034	医)健寿会 黒木病院	延 岡 市	消外,消内	2	常勤
190086	医)早田病院	延 岡 市	消内,循内	2	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延 岡 市	産婦,内,小	3	常勤・非常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内,消外,内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内,小	2	非常勤
230186	医)隆誠会 延岡保養園	延 岡 市	精	1	常勤
230189	特医)健腎会 おがわクリニック	延 岡 市	泌,透	4	常勤・非常勤
230203	医)杉杏会 杉本病院	延 岡 市	内	1	非常勤
230210	医)あつきこころ 大貫診療所	延 岡 市	内,外 (いずれか)	1	常勤
230219	延岡リハビリテーション病院	延 岡 市	内,整,リハ	3	常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日 向 市	外,整	4	常勤
210111	福)恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内,外,リハ	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美 郷 町	内,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美 郷 町	内,整	2	常勤
230200	医)おざきメディカルアソシエイツ 尾崎眼科	日 向 市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医)洋承会 今給黎医院	日 向 市	内,循内	2	常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	内,麻,外,眼,健診	5	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川 南 町	呼内,循内,糖内,神内,小,整	12	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内,外,整,総診,透	5	常勤
230204	医)昇山会 上山医院	西 都 市	内,整 (いずれか)	1	非常勤
150002	社医)慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日 南 市	内	1	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串 間 市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内,外,整,在宅	4	常勤
180071	串間市市民病院	串 間 市	内,外,総診,消内,腎内	5	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日 南 市	内	1	常勤
230188	医)春光会 春光会記念病院	日 南 市	外,内	5	常勤・非常勤
230211	医)秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串 間 市	不問	1	常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内,皮	4	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	救急,総診,放,麻	6	常勤
180076	医)けんゆう会 園田病院	小 林 市	外,循内,整,脳外	9	常勤・非常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整,内,脳外	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわやかセンター	小 林 市	内	1	非常勤
230169	医)連理会 和田クリニック	小 林 市	内	1	常勤
230197	医)友光会 整形外科押領司病院	小 林 市	整,内,麻	5	常勤・非常勤
230218	医)養気会 池井病院	小 林 市	腎内	1	常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,透	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外 (いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和4年9月1日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ：2,022.17㎡ (612.77坪) 所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地：2,280.83㎡ (691.16坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 計 1,400.48㎡ (424.38坪) ※別途駐車場あり (20台) 所有者：西都市西児湯医師会員 図師医院跡
2. 譲渡又は 賃貸物件	① 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地：4,449㎡ (1,348.18坪) 建物：鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり (70台) 所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 宮崎市上野町5-1 土地：1,260.55㎡ (381.98坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根5階建 1階 378.60㎡ 2階 391.80㎡ 3階 374.04㎡ 4階 374.04㎡ 5階 363.13㎡ 計1,881.61㎡ (570.18坪) ※駐車場あり (22台) 2階は事務所 3階は宿舍・寮8室使用可 4階は貸倉庫 所有者：宮崎市郡医師会員 谷口 二郎 たにぐちレディースクリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地：1,654.58㎡ (501.38坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 計 829.40㎡ (251.33坪) ※駐車場あり (50台) 所有者：(医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地：875㎡ (265.15坪) 建物：木造瓦葺平屋建 1階 114㎡ (34.54坪) ※駐車場あり (20台) 所有者：西臼杵郡医師会員 後藤医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 (宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail : isikyouto@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

きりとりせん

お名前：

ご所属：

TEL： FAX：

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和4年9月27日

10				月			
1	土	15：00	県警察医会総会・特別講演会(Web会議)	16	日	8：30	ACLS研修会
		16：00	(大分) 九医連常任委員会	17	月	19：00	広報委員会
		16：00	(大分) 九医連各種協議会	18	火	10：00	日医監事会 (Web会議)
		16：30	(長崎) 九州医師協同組合連合会通常総会			11：00	日医役員勉強会 (Web会議)
		18：00	(長崎) 九州医師協同組合連合会理事会			13：00	日医理事打合会 (Web会議)
2	日					14：00	日医理事会 (Web会議)
3	月	18：30	県がん対策審議会	19	水	14：00	労災診療費算定実務研修会 (Web会議)
		19：00	県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防研修会 (Web会議)			16：00	支払基金審査運営協議会
		19：00	県小児科医会生涯研修セミナー準備委員会 (Web会議)			16：00	都道府県医師会医師会組織強化担当役員連絡協議会 (Web会議)
4	火	19：00	第12回常任理事協議会	20	木	19：00	県地域医療構想調整会議
5	水					19：00	県内科医会学術委員会 (Web会議)
6	木	15：00	(日医) 日医医療秘書認定試験委員会	21	金		
		19：00	男女共同参画委員会	22	土	16：00	病院部会・医療法人部会合同研修会 (Web会議)
7	金			23	日	13：20	人体シミュレータを用いた在宅医療研修会
8	土	14：30	産業医研修会 (実地)	24	月	19：00	広報委員会
9	日	8：50	日本小児科医会生涯研修セミナーin宮崎			19：00	医療従事者向け認知症対応力向上研修会 (Web会議)
		13：30	宮崎から医師をめざそう！応援フォーラム	25	火	18：00	医協理事会
		16：30	第48回JCOA研修会in宮崎			18：30	医協理事・運営委員合同協議会
10	月		(スポーツの日)			終了後	第10回全理事協議会
11	火	16：30	都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会 (Web会議)	26	水	10：00	女性医師等保育支援サービスシステム事業サポート会員養成講座
		19：00	第9回全理事協議会 (Web会議)			15：00	労災診療指導委員会
12	水	13：30	歯科保健推進協議会	27	木	18：00	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会
		16：00	日医定款・諸規程検討委員会 (Web会議)			10：00	女性医師等保育支援サービスシステム事業サポート会員養成講座
		19：00	第37回日本整形外科学会基礎学術集会晩餐会			19：00	生活習慣病検診従事者研修会 (肺・乳・胃・大腸がん検診研修会) (Web会議)
13	木	16：00	日医勤務医委員会 (Web会議)	28	金	14：00	日本スポーツ振興センター学校安全業務運営会議
		19：00	県産婦人科医会常任理事会 (Web会議)			19：00	県医療事故調査支援団体連絡協議会・県医医療事故調査支援委員会合同会議
14	金	19：00	県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会	29	土		
15	土	9：00	ICLS指導者養成ワークショップ	30	日	9：00	人体シミュレータを用いた在宅医療研修会
		10：00	(愛知) 全国医師会勤務医部会連絡協議会				
		14：00	オンライン資格確認カードリーダー説明会	31	月		

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

※都合により、変更になることがあります。

行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和4年9月27日

11			月		
1	火	19:00 第13回常任理事協議会	15	火	13:30 (日医) 日医理事会 15:00 (日医) 都道府県医師会長会議
2	水		16	水	
3	木	(文化の日) 8:30 県医親善ゴルフ大会	17	木	19:00 医協会計監査
4	金	認知症サポート医・かかりつけ 医スキルアップ研修会	18	金	
5	土	15:00 (福岡) 九州学校検診協議会専門委員会 16:00 県整形外科医会研修会 16:30 (東京) 全国医師協同組合連合会通常総会 17:00 (福岡) 九州各県医師会学校保健担当理事者会	19	土	13:45 県プライマリ・ケア研究会 世話人会・総会・研修会 14:00 日医女性医師支援・ドクターバンク連携九州ブロック 会議(Web会議)
			20	日	9:00 かかりつけ医等発達障がい 対応力向上研修 11:00 世界糖尿病デーin宮崎2022 県民公開講座
6	日	9:00 (日南市) 県総合防災訓練	21	月	19:00 広報委員会
7	月		22	火	19:00 第11回全理事協議会(Web 会議)
8	火	19:00 宮大医学部5年生未来の医療を 語る全員交流会	23	水	(勤労感謝の日)
9	水	14:00 (日医) 日医有床診療所委員会	24	木	
10	木	19:00 県産婦人科医会常任理事会(Web 会議)	25	金	16:00 (大分) 九医連常任委員会 17:00 (大分) 九医連臨時委員総会
11	金	アイバンク公益法人定期立入検査 (日医) 日医医療秘書認定試験 委員会	26	土	10:00 (大分) 九医連委員・九州 各県役員合同協議会 13:00 (大分) 九州医師会総会・ 医学会
12	土	九州各県内科医会連絡協議会他 (Web会議) 9:00 (岩手) 全国学校保健・学校医 大会 15:00 生活習慣病検診従事者研修会(肺 ・乳・胃・大腸がん検診研修会) (Web会議)	27	日	(大分) 九医学分科会・記 念行事
			28	月	
13	日	(福岡) eレジフェア(Web)	29	火	18:00 九州地方社会保険医療協議会宮 崎部会 18:30 医協理事会 19:00 医協理事・運営委員合同協議会 終了後 第12回全理事協議会
14	月	19:00 広報委員会	30	水	13:30 宮大経営協議会 15:00 労災診療指導委員会
15	火	10:00 (日医) 日医監事会 11:00 (日医) 日医役員勉強会 13:00 (日医) 日医理事打合せ			

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

※新型コロナウイルス感染症拡大のため，中止や延期となる場合があります。
参加前には開催の有無を主催元にお確かめいただきますようお願いいたします。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第29回宮崎県警察 医会特別講演会 10月1日(土) 15:30～17:00 県医師会館	水中死体～特にマリネジャー関連死について～ 琉球大学医学研究科 法医学講座 教授 二宮 賢司	44 (1.5)	◇主催 ※宮崎県警察医会 ☎0985-22-5118
第168回宮崎心臓病 研究会 (Web講習会) 10月3日(月) 19:00～20:10 宮崎観光ホテル ※受講は現地また はWeb	最新の心不全診療～ガイドラインに学ぶ～ 九州大学医学研究院 循環器内科学 教授 筒井 裕之 他	42 (0.5) 43 (0.5)	◇主催 宮崎心臓病研究会 ◇共催 ノバルティスファーマ(株) 大塚製薬(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101
宮崎県医師会産業 医研修会 10月4日(火) 19:00～21:00 延岡市職業訓練支 援センター	事業者の安全配慮義務と産業医の役割 産業保健相談員 労衛研 延岡健診センター 生涯研修の専門研修：2単位	1 (0.5) 3 (0.5) 6 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 10月5日(水) 19:00～21:00 県医師会館	行動変容理論に基づく健康診断事後保健指導の事例検討 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の現地研修：2単位	1 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎大学医学部附 属病院2022年度医 療安全管理・感染 対策講演会 10月6日(木) 16:00～17:15 宮崎大学医学部附 属病院	【専門医共通講習－医療倫理：1単位】 患者・被験者の「安全」を意識した「臨床倫理」「研究 倫理」とは？ ～あなたの診療・研究は本当に「最善」ですか？～ 宮崎大学医学部附属病院 臨床倫理部 部長 板井 孝壱郎	2 (1.0)	◇主催 宮崎大学医学部附属 病院医療安全管理部 (連絡先) 宮崎大学医学部附属病院 ☎0985-85-1864
西臼杵郡医師会学 術講演会 (Web講習会) 10月6日(木) 19:00～20:00 エンシティホテル 延岡 ※受講はWebのみ	CardioRenal Anemia Iron Deficiency Syndrome ～病態と治療～ 宮崎大学医学部 医療環境イノベーション講座 特別教授 藤元 昭一	9 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 西臼杵郡医師会 ◇共催 ※協和キリン(株) ☎090-1059-8567
宮崎脳卒中循環器 病対策講演会 (Web講習会) 10月7日(金) 19:00～20:30 ホテルスカイタワー ※受講は現地また はWeb	宮崎県の循環器病対策基本計画 ～発症を未然に防ぐには～ 宮崎大学医学部 内科学講座 循環器・腎臓内科学分野 教授 海北 幸一 ----- 脳梗塞の治療と二次予防について 宮崎大学医学部 臨床神経科学講座 脳神経外科学分野 講師 大田 元	12 (0.5) 78 (0.5)	◇主催 公益社団法人日本脳卒中協会 ◇共催 ※ファイザー(株) ☎080-6658-6098

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第2回Case Conference of 県宮総 診 (Web講習会) 10月8日(土) 14:00～17:00 まちなかキャンパス ※受講は現地またはWeb	症例検討 県立宮崎病院 総合診療科 医長 早川 学	17 (1.0) 28 (1.0)	◇主催 ※宮崎大学医学部地域医療・総合診療医学講座 ☎0985-85-9809 県立宮崎病院総合診療科
宮崎県医師会産業 医研修会 10月8日(土) 14:30～16:30 県医師会館	職場環境測定を理解する ～測定機器を使用して環境測定を行う～ 宮崎大学医学部 社会医学講座 公衆衛生学分野 教授 黒田 嘉紀 基礎研修・生涯研修の実地研修：2単位	7 (1.0) 11 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
第18回日本小児科 医会生涯研修セミナーin宮崎 10月9日(日) 8:50～16:10 宮崎観光ホテル	小児のスクリーニング事業充実を目指して 宮崎大学医学部 看護学科基礎看護学領域 教授 澤田 浩武	11 (0.5)	◇主催 ※宮崎県小児科医会 ☎0985-23-9100
	現場実践に活かす「臨床倫理」の考え方 ～重篤な小児神経疾患の倫理的推論 (ethical reasoning) を中心に～ 宮崎大学医学部 社会医学講座 生命・医療倫理学分野 教授 板井 孝壱郎	2 (1.0)	
	子どもの生活と「メディア」 筑紫女学園大学 人間科学部人間科学科 初等教育・保育専攻 教授 特定非営利活動法人子どもとメディア 専務理事 原 陽一郎	72 (0.5) 82 (0.5)	
	宮崎の強み：本格焼酎の魅力 (製造からおいしい飲み方そして機能性・アルコール体 質まで) 宮崎大学役員補佐・次世代研究者支援室長 水光 正仁	0 (0.5)	
	小児がん治療の最前線 宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座 小児科学分野 教授 盛武 浩	9 (0.5)	
	子どもにとってのCOVID-19, 大人にとってのCOVID-19 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 小児科学 教授 森内 浩幸	8 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 10月11日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福 祉センター	行動変容理論に基づく健康診断事後保健指導の事例検討 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の現地研修：2単位	1 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
南那珂医師会生涯 教育医学会 (Web講習会) 10月13日(木) 19:00～20:00 南那珂医師会館 ※受講は現地また はWeb	心不全予備軍に対するリスク管理 済生会熊本病院 心臓血管センター 循環器内科 医長 兒玉 和久	73 (1.0)	◇主催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 ◇共催 ノバルティスファーマ(株) 大塚製薬(株)
宮崎県医師会産業 医研修会 10月17日(月) 19:00～21:00 県医師会館	両立支援の実際(難病を中心に) 産業保健相談員 宮崎大学医学部附属病院 患者支援センター長 鈴木 斎王 生涯研修の専門研修：2単位	1 (0.5) 4 (0.5) 6 (0.5) 10 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県内科医会学 術講演会 (Web講習会) 10月18日(火) 19:00～20:30 ホテルスカイタワー ※受講は現地また はWeb	プライマリケア医のための抗凝固療法～心房細動～ 名越内科 院長 名越 敏郎 知っておきたい明日から役立つ静脈血栓塞栓症(VTE) 診療 こいわや循環器内科クリニック 院長 小岩屋 宏	12 (0.5) 62 (0.5)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※ファイザー(株) ☎080-6658-6098 プリストルマイヤーズスクイブ(株)

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
延岡医学会学術講演会 (Web講習会) 10月21日(金) 18:45～19:45 延岡市コワーキングスペース ※受講は現地またはWeb	緩和ケア領域の睡眠障害 ～“眠れない”の理由を探ろう！～ 宮崎大学医学部 臨床神経科学講座 精神医学分野 講師 船橋 英樹	20 (1.0)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 MSD(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
第67回宮崎県スポーツ学会 10月22日(土) 15:00～18:30 県医師会館	スポーツ障害肩に対する理学療法 ウェルケアわきた整形外科 技師長 千葉 慎一	10 (0.5) 61 (0.5)	◇主催 宮崎県スポーツ学会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 (連絡先) 宮崎大学 ☎0985-85-0986
	女性アスリートに対するメディカルサポートの現状 東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科 特任講師 能瀬 さやか	10 (0.5) 72 (0.5)	
	少年野球検診で学んだこと 徳島大学病院 リハビリテーション部 教授 松浦 哲也	61 (0.5) 72 (0.5)	
延岡医学会学術講演会 (Web講習会) 10月28日(金) 19:00～20:00 延岡市コワーキングスペース ※受講は現地またはWeb	カリウム管理の重要性と対策 原三信病院 腎臓内科 部長 満生 浩司	44 (1.0)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 延岡市西臼杵郡薬剤師会 アストラゼネカ(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
宮崎大学医学部附属病院2022年度医療安全管理・感染対策講演会 10月31日(月) 17:00～18:15 宮崎大学医学部附属病院	【専門医共通講習－感染対策：1単位】 当院の感染対策UP-TO-DATE2022 宮崎大学医学部附属病院 感染制御部 部長 高城 一郎	8 (1.0)	◇主催 宮崎大学医学部附属病院感染制御部 (連絡先) 宮崎大学医学部附属病院 ☎0985-85-1864

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 11月2日(水) 19:00～21:00 県医師会館	衛生委員会における次年度年間スケジュールの具体的な立て方 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修：2単位	1 (0.5) 6 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
「皮膚の日」講演会 (Web講習会) 11月6日(日) 14:00～15:30 宮日会館 ※受講は現地またはWeb	健康長寿のため 必須微量ミネラルの重要性を知ろう ～特に亜鉛を中心に～ 青木皮膚科 医師 出盛 允啓	9 (1.0) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎県皮膚科医会 ☎0985-23-2011 ◇後援 日本臨床皮膚科医会 厚生労働省 NHK 日本医師会 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 11月11日(金) 19:00～21:00 県医師会館	事業者の安全配慮義務と産業医の役割 産業保健相談員 労衛研 延岡健診センター 田中 伸明 生涯研修の専門研修：2単位	1 (0.5) 3 (0.5) 6 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 11月15日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福 祉センター	衛生委員会における次年度年間スケジュールの具体的な立て方 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修：2単位	1 (0.5) 6 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 11月16日(水) 19:00～21:00 県医師会館	精神疾患と自殺対策 産業保健相談員 中村クリニック 院長 生涯研修の専門研修：2単位	1 (0.5) 11 (0.5) 69 (0.5) 70 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 11月18日(金) 19:00～21:00 延岡市職業訓練支 援センター	職場における糖尿病対策 産業保健相談員 日南市立中部病院 院長 生涯研修の専門研修：2単位	4 (0.5) 11 (0.5) 76 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 12月5日(月) 19:00～21:00 都城市北諸県郡医 師会館	事業者の安全配慮義務と産業医の役割 産業保健相談員 労衛研 延岡健診センター 生涯研修の専門研修：2単位	1 (0.5) 3 (0.5) 6 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 12月7日(水) 19:00～21:00 県医師会館	産業医が知っておきたい難病支援と企業における障害 者雇用と就労支援 産業保健相談員 串間市民病院 院長 生涯研修の専門研修：2単位	1 (0.5) 3 (0.5) 6 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 12月15日(木) 19:00～21:00 県医師会館	労働環境におけるPTSD様症状 産業保健相談員 宮崎大学医学部附属病院 精神科 講師 船橋 英樹 生涯研修の専門研修：2単位	1 (0.5) 3 (0.5) 5 (0.5) 15 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 12月20日(火) 19:00～20:00 串間市総合保健福 祉センター	産業医が知っておきたい難病支援と企業における障害 者雇用と就労支援 産業保健相談員 串間市民病院 院長 生涯研修の専門研修：2単位	1 (0.5) 3 (0.5) 6 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

医療事故調査制度

宮崎県医師会 相談窓口電話 0985-22-5118

宮崎県医師会は支援団体として、県内の医療機関をサポートいたします。医療事故の判断に迷った時、また、医療事故と判断した時は、宮崎県医師会までご連絡ください。

【受付時間】

平日の8時30分から18時、土曜日8時30分から12時30分の時間帯は、県医師会事務局の代表電話（0985-22-5118）で対応いたします。

時間外または日曜祝日などで県医師会が対応できない場合は、国が指定した東京の「医療事故調査・支援センター相談専用電話（03-3434-1110）」にご連絡ください。

【制度の目的】

本制度は医療法の「第3章医療の安全の確保」に位置づけられており、6条の11において「病院等の管理者は、医療事故が発生した場合には、厚生労働省令で定めるところにより、速やかにその原因を明らかにするために必要な調査（「医療事故調査」という）を行わなければならない」と規定されています。本制度は、医療の安全のための再発防止を目的とし、原因を調査するために、医療機関が自主的に医療事故を調査し、再発防止に取り組むことを基本としており、責任追及を目的としたものではありません。

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550

E-mail iryoku-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

診療メモ



卵円孔開存 (PFO) に対するカテーテル治療

宮崎市郡医師会病院心臓病センター 循環器内科 木村 俊之^{き むら とし ゆき}

卵円孔は、胎生期に心房間に存在する生理的短絡路であり、臍帯からの酸素化された血液を胎児の全身に送るための必須の心内構造です。出生後、数日から数か月以内に機能的に閉鎖しますが、健常成人のおよそ25%で完全に癒合せず、弁状に開存した状態で残ることが知られており、卵円孔開存 (patent foramen ovale: PFO) と呼ばれます。多くの場合は無症候性ですが、ときに潜因性脳梗塞 (embolic stroke of undetermined sources: ESUS) の原因となることが知られており、PFOを有する潜因性脳梗塞患者の再発予防として、経皮的卵円孔閉鎖術が2019年12月に本邦でも保険適応となりました。

本稿では、この新たな治療法の適応と閉鎖術の基本的知識について概説したいと思います。

潜因性脳梗塞 (ESUS) と卵円孔開存 (PFO)

潜因性脳梗塞は、“十分な精査にも関わらず脳梗塞の原因が不明なもの”，と定義され、高齢者では潜在性の心房細動や大動脈原性、悪性腫瘍関連などが多い一方、若年者の脳梗塞患者ではPFOの関与が多くみられます。PFO患者が脳梗塞を起こす機序は、いわゆる奇異性塞栓症 (paradoxical embolism) と呼ばれる病態で説明されます。排便や怒責などによる一過性の右心圧上昇により卵円孔が機能的に開き右左シャントをきたすことで、下肢静脈などにある血栓が

左心系へ流入して脳梗塞を発症します。そのため、動脈硬化リスクの少ない若年脳梗塞患者をみた際には、積極的にPFOの存在を疑い検査をすすめることが重要です。

PFOの診断

PFOが疑われた場合は、まず経胸壁心エコー図検査でのマイクロバブルテストで右左シャントの証明と短絡血流量の評価を行います。これはシリンジ内で生理食塩水と空気を攪拌し、細かな気泡を作成して末梢静脈路から投与する方法で、PFOを有する場合は3心拍以内に左心系内にバブルの出現がみられます。更に経食道心エコー図検査を行うことで、心房中隔の卵円窩に相当する部位のフラップ様構造物と、カラードプラで同部を通過するシャント血流を認めることでPFOの存在診断が行えます。

経皮的PFO閉鎖術のエビデンス

経皮的PFO閉鎖術がはじめて実施されたのは、遡ること30年前の1992年ですが、潜因性脳梗塞再発予防としての臨床的有用性が証明されたのは最近になってのことです。2012年に最初のRCTであるCLOSURE I試験の結果が発表されましたが、薬物治療と有意差がないという結果でした。これは、使用された初期閉鎖デバイスのシャント閉鎖率が低く、また閉鎖術後

早期にデバイス関連塞栓症を起こした疑い、その他組入れ段階でラクナ梗塞患者を十分に除外できていなかった問題などが指摘されています。2017年に現在使用されているAmplatzer™ PFO Occluderを用いたRCTであるRESPECT試験の結果が報告され、経皮的PFO閉鎖術が薬物療法単独に比べ有意差をもって脳梗塞再発予防に優れることが示されました。その他のRCTでも同様の結果が示され、昨年改定された脳卒中ガイドライン2021においても、60歳未満に対するPFO閉鎖術は妥当とされ（推奨度B）、ハイリスクPFO（シャント量が多い、心房中隔瘤合併など）には閉鎖術が勧められています（推奨度A）。

経皮的PFO閉鎖術の手技

我が国で利用できるAmplatzer™ PFO Occluderはニチノールのワイヤーを編み込んだ2枚のディスクを有する自己展開型のデバイスです。実際の手技は全身麻酔下に経食道心エコーガイドで行うことが一般的ですが、術前の解剖学的評価が十分になされていれば、局所麻酔下に心腔内エコー（intracardiac echocardiography: ICE）を用いて行うことも可能です。大腿静脈からデリバリーシースをPFO経由で左心房まで勧め、

左房ディスク、右房ディスクを順次展開し、心房中隔を挟み込むようにデバイスを留置し、PFOを閉鎖します。手技時間は約30分程度で、当院では3泊4日での入院治療で行っています。

PFOが関与する脳梗塞の多くは若年発症であり、適切な治療対応は社会的意義も大きいと考えます。現在ハートブレインチームといった概念が提唱されており、本県においても、われわれ循環器内科医と脳卒中専門医が密に連携を取り、治療にあたることを求められています。また、PFOはESUS以外にもplatypnea-orthodeoxia syndromeや片頭痛、高山病、潜水病との関連も指摘されており、偏頭痛に対する閉鎖術は現在その有用性に関する臨床試験が行われています。今後数年のうちに新たな知見が加わり、その適応が拡大される可能性が期待されています。



図1 Amplatzer™ PFO occluder

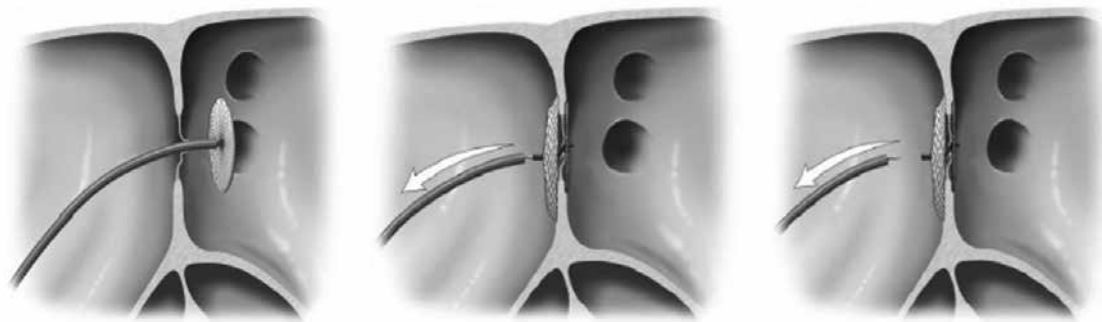


図2 経皮的PFO閉鎖術

宮大医学部学生のページ



コロナの規制緩和と学生生活の変化

宮崎大学医学部 医学科3年 ^{はや}早 ^せ瀬 ^{りく}陸

新型コロナウイルスの流行に際し、社会全体で数々の制限が下された中、宮崎大学医学部でも規制と緩和に準じてさまざまな対策が講じられました。我々学生が最も関わる医学教育についてもいくつかの制限が設けられ、特に新型コロナウイルスの蔓延当初である令和2年度については、座学講義の大半は録画講義へと代替され、実習も時間を短縮したり、患者さんとの接触を制限されたりという状況でした。このような制限の中、十分な学修の機会を得られず不安を感じる学生も多く、学生自治組織である学生会が、会員である学生の声を集め、新設された教務学生連絡協議会にて教務・学生間で意見交換を行いました。昨年度および今年度は講義に対する規制もおおよそ緩和され、十分な感染対策を講じたうえで対面講義や実習が再開しましたが、今もなおいくつかの規制は残り続けており、教務・学生間での情報共有や意見交換も継続されています。

また、サークルに対しても日頃の活動や遠征に関する規制や緩和があり、これらについての情報を円滑に共有すべく、新設したサークル委員会を中心に各サークルに対しての自治を行いました。多くのサークルが参加する九州・山口

医科学生体育大会（九山）や西日本医科学生総合体育大会（西医体）は、残念ながら3年連続で中止となってしまう、課外活動にも勤しむ学生にとっては大きな打撃となりました。しかしながら、毎年学生が開催している新歓や音楽祭、学園祭などのイベントについては、大学側からの厳格な規制といくつかの緩和がある中で、学生会としては各分野を取りまとめる専門委員長やサークル委員長などと連携し、イベント開催に向けての対策と準備を進めてきました。特に昨年度は、関係者限りではありますが各種イベントを開催することができ、地域の皆様のご理解や大学側の感染対策についてのご協力に対し、学生を代表して深く感謝いたします。

近年の宮崎大学医学部では、医学教育に対する改革が積極的に行われており、進級に関する規則や基盤形成科目のカリキュラムが大きく変容しました。本学での教育や卒後の進路などについて議論するプログラム評価委員会では、学生の代表として学生会長も参加し、ここでも大学側と学生との間で意見交換する場がありました。国家試験やその後の臨床を見据え、よりよい教育を目指すべく、今年度は教員と学生の相互評価について主に議論されました。医療人育

成課が日頃行っている授業評価アンケートに加え、定期試験や成績評価に対するアンケートも実験的に行うこととなり、学生会執行部がこれを担い、教務委員会に提出するということになりました。

日常的な学生生活でもさまざまな変化が見られるようになりました。新型コロナウイルスの流行にともない、医学部キャンパス内の生協食堂と売店の需要が高まり、食堂の拡張改修と売店の移設が行われるようになりました。学生会は大学生協や売店の職員の方々と意見を交換し、工事期間中の対策や学生の需要についても協議を行いました。また、医学科同窓会である篠懸会のご厚意もあり、学生が主催するイベントや日頃のサークル活動、臨床実習生の国家試験対策模試についての支援のみならず、新型コロナウイルスの感染拡大で困窮した学生に対しても支援をしていただいております。

医学教育が国際標準に準じていく一方で、基礎医学科目や座学講義の前倒しによる逼迫も見受けられ、大学側の寛大なご理解もあることから教務・学生双方の意見をできるだけ両立へと

運ぼうとする動きも取り入れられています。学生会としては教務委員会、医療人育成課、篠懸会などと連携する体制が確立したこともあり、学生の意見をもれなく集めるべくアンケート活動を中心に情報収集を行い、また学生会執行部と全学生が意見交換を行える年1回の学生大会も継続して開催していく予定です。私は現会長職に就いている身として、今後も学生会を中心とする組織体制を維持し、教育の改革や基盤形成に対して学生の目線から携われるよう努力していく所存です。



今年度学生大会後に撮影された執行部の集合写真



今年度学園祭に向けた第1回幹部全大会

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。か、所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
8月26日	・一般用新型コロナウイルス抗原定性検査キットに係る製造販売承認申請の取扱いについて ・新型コロナウイルス感染症の研究用抗原定性検査キットに関する留意事項について（その2） ・新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（ラゲブリオカプセル）の医療機関及び薬局への配分について（別紙及び質疑応答集の修正） ・病床や救急医療のひっ迫回避に向けた宿泊療養施設や休止病床の活用等について ・文部科学省発出「学校で児童生徒等や教職員の新型コロナウイルスの感染が確認された場合の対応ガイドラインの改定について」および「夏季休業明けにおける新型コロナウイルス感染症対策について」の送付について ・本人の意向を尊重した意思決定のための研修会「相談員研修会」及び「在宅医療・施設ケア従事者版相談員研修会」の開催について（依頼） ・スチムリマブ（遺伝子組換え）製剤の使用に当たっての留意事項について ・世界アルツハイマー記念講演会について（依頼） ・令和4年度「自殺予防週間」における啓発活動等の推進について ・医療用解熱鎮痛薬の安定供給について ・使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について ・令和4年8月3日からの大雨による被災に関する労災診療費等の請求の取扱いについて ・令和4年度食生活改善普及運動の実施について
8月30日	・後期高齢者医療の窓口負担割合の見直し等に係る医療機関等向けの周知事項について ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則を改正する省令の公布および新型コロナウイルス感染症に係る発生届の限定（緊急避難措置）の概要及び必要な手続き等について ・「オミクロン株のBA.5系統への置き換えを見据えた感染拡大に対応するための医療機関・保健所の負担軽減等について」の一部改正について ・解熱鎮痛剤の安定供給に向けた取り組みについて ・労災レセプト電算処理システムの利用促進に係る協力依頼について ・B型肝炎ワクチンの供給見込みについて（更新情報） ・感染症サーベイランスシステムの更改に向けた事前準備について（その2）
9月1日	・令和5年度医療に関する税制要望について ・令和4年度宮崎県保健指導実施者経験者研修会の開催について（通知） ・新型コロナウイルス感染症に係る発生届の限定（緊急避難措置）の概要及び必要な手続き等について ・新型コロナウイルス感染症に係る発生届の限定（緊急避難措置）の概要及び必要な手続き等について ・オンライン資格確認導入のための見積取得に関する会員への周知徹底のお願い

送付日	文 書 名
9月1日	・感染対策向上加算の施設基準において求める研修に該当する令和4年度院内感染対策講習会の周知について ・肝炎治療特別促進事業におけるエプクルーサ配合錠の取扱いについて ・ファイザー社ワクチン及びモデルナ社ワクチンの有効期限の取扱いについて ・検査料の点数の取扱いについて ・注射用HCG5,000単位「F」、同10,000単位「F」等の医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項について ・チサゲンレクルユーセル製剤「キムリア点滴静注」に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項の一部改正について ・予防接種後健康状況調査の実施について ・厚生労働省「令和4年度第1回医療政策研修会及び第1回地域医療構想アドバイザー会議」の開催について ・美容医療サービス等の自由診療におけるインフォームド・コンセントの取扱い等について（再周知）
9月5日	・新型コロナウイルス感染症に係る発生届の限定（緊急避難措置）の概要及び必要な手続き等について ・現下の感染状況を踏まえたオンライン診療等も活用した診療・検査医療機関の拡充・公表について ・ラゲブリオカプセル200mgの使用期限の取扱いについて ・第53回全国学校保健・学校医大会の開催形式について ・令和4年度ICTを活用した在宅看取りに関する研修事業「医師による遠隔での死亡診断をサポートする看護師を対象とした研修会」の開催について ・NBCR対策推進機構 第2回「医療従事者・消防職員等のためのCBRNE災害医療対策講習会」の開催について ・ゼビュディ点滴静注液500mgの使用期限の取扱いについて ・令和4年度診療報酬改定関連通知等の一部訂正について ・抗PD-1抗体抗悪性腫瘍剤に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項の一部改正について
9月6日	・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・令和4年度健康長寿推進企業等知事表彰の募集及び周知について（依頼） ・新型コロナウイルス感染症にかかるワクチンに関する予防接種後副反応疑い報告書の記載方法について
9月8日	・無痛分娩の提供体制に関する情報公開の一元化・推進について（周知依頼） ・「人道的見地から実施される治験の実施について」の改正について ・「職場の健康診断実施強化月間」の実施に関する協力依頼について ・シタグリプチンリン酸塩水和物製剤におけるニトロソアミン類の検出への対応等について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その24）」の送付について ・新型コロナウイルス感染症における中和抗体薬「チキサゲビマブ及びシルガビマブ」の医療機関への配分について ・生後6ヶ月以上4歳以下の者への新型コロナワクチン接種に向けた接種体制の整備について

送付日	文 書 名
9月8日	・ファイザー社及びモデルナ社の新型コロナワクチン（オリジナル株とオミクロン株（BA.1）の2価ワクチン）の配送等について ・オミクロン株に対応した新型コロナワクチンの接種体制確保について（その3） ・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き」（自治体向け）の改訂について（第9版） ・Withコロナの新たな段階への移行に向けた療養の考え方の見直しについて
9月9日	・医療機関、障害者施設等における旧優生保護法に関連した資料の保全について（再依頼） ・チサゲンレクルユーセルの最適使用推進ガイドラインの一部改正について ・公知申請に係る事前評価が終了し、医薬品医療機器等法に基づく承認事項の一部変更承認がなされた医薬品の保険上の取扱いについて ・エレヌマブ製剤（銘柄名：アイモビーグ皮下注70mgペン）の在宅自己注射について ・独立行政法人医薬品医療機器総合機構が実施する健康被害救済制度に関する集中広報の周知について（協力依頼） ・オンライン資格確認導入に関する社会保険診療報酬支払基金からの広報誌の送付について ・令和4年度 医療機関における外国人患者受入れに係る実態調査実施について（協力依頼）
9月13日	・看護の処遇改善並びにオンライン資格確認の導入の原則義務化及びこれに伴う診療報酬上の加算の取扱いについて ・「看護職員処遇改善評価料の取扱いに関する疑義解釈資料の送付について（その1）」の送付について ・「医療情報・システム基盤整備体制充実加算の取扱いに関する疑義解釈資料の送付について（その1）」の送付について ・紹介状なしで受診する場合等の「特別の料金」の見直しについて ・検査料の点数の取扱いについて ・「新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その74）」及び「「新型コロナウイルス感染症に係る行政検査の保険適用に伴う費用の請求に関する診療報酬明細書の記載等について」の一部改正について」について ・令和4年度診療報酬改定において経過措置を設けた施設基準の取扱いについて ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その25）」の送付について ・ソリリス点滴静注300mgの保険適用に係る留意事項の一部改正について ・全国健康保険協会（協会けんぽ）における各種申請書の変更について ・アモキサピン製剤及びシタグリブチンリン酸塩水和物製剤におけるニトロソアミン類の検出への対応について ・新型コロナウイルス感染症に係る行政検査における抗原検査の取り扱いについて ・新型コロナウイルス感染症の患者に対する療養期間等の見直しについて ・5歳以上11歳以下の者に対する新型コロナワクチンの3回目接種の実施に当たっての留意事項について ・予防接種法施行令の一部を改正する政令及び予防接種実施規則の一部を改正する省令の公布並びに「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施について（指示）」の一部改正について ・新型コロナウイルス感染症における中和抗体薬「チキサゲビマブ及びシルガビマブ」の医療機関への配分について（別紙及び疑義応答集の修正）

送付日	文 書 名
9月13日	・令和4年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（医療分）の新型コロナウイルスワクチンの接種に係る事業の継続について ・令和4年8月3日からの大雨による災害に係る介護報酬等の請求等の取扱いについて（8月サービス提供分） ・パキロビッドパックの使用期限の取扱いについて ・令和4年度結核予防週間の実施について ・「病原微生物検出情報」の送付について ・地域におけるオンライン資格確認に関する説明会の開催及び顔認証付きカードリーダーの紙申請とりまとめに関するお願い ・職場における新たな化学物質規制に関連する告示の制定について（情報提供）
9月16日	・「令和4年版 死因究明等推進白書」の公表について（情報提供） ・材料価格基準の一部改正等について ・感染症サーベイランスシステムの更改に向けた事前準備について（その2） ・令和4年度の医療法第25条第1項の規定に基づく立入検査の実施について（再周知） ・後期高齢者医療制度における一部負担金の負担割合の見直しに係る費用の請求に関する診療報酬明細書等の記載について ・「令和3年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査（令和4年度調査）への協力依頼について」の送付について ・予防接種後健康状況調査の実施について（電子調査システムのメンテナンス情報等の取得にかかるご案内） ・新型コロナウイルス感染症の抗原定性検査キットの適正な選択に関するリーフレットについて ・文部科学省発出「新型コロナウイルス感染症の患者に対する療養期間等の見直し等を内容とする『新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針』の変更について」の送付について ・文部科学省発出「新型コロナウイルスの感染拡大を防止するための換気の徹底及びその効果的な実施について」および「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の幼児児童生徒に対する実施についての学校等における考え方及び留意点等について」の送付について ・新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（ラゲブリオカプセル）の薬価収載に伴う医療機関及び薬局への配分等について（その2） ・Withコロナの新たな段階への移行に向けた全数届出の見直しについて ・新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針の変更について ・新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その75） ・令和4年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（医療分）の事業の継続について ・モデルナ社の新型コロナワクチン（オリジナル株とオミクロン株（BA.1）の2価ワクチン）の配送等について（その2） ・医療機関等への支援に関する新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金における「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」等の活用について ・医療機関等への支援に関する新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金における「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」等の活用調査について（情報提供）

送付日	文 書 名
9月22日	・新型コロナウイルス感染症の患者に対する療養期間等の見直しについて ・高齢者施設等の従事者等に対する検査の実施の更なる推進について ・「新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（ラゲプリオカプセル）の薬価収載に伴う介護老人保健施設等での活用等について」の周知について ・新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（ラゲプリオカプセル）の薬価収載に伴う医療機関及び薬局への配分等について（その3） ・オミクロン株に対応した新型コロナワクチンの接種体制確保について（その4） ・Withコロナの新たな段階への移行に向けた全数届出の見直しについて（一部改正） ・新型コロナウイルス感染症の全数届出見直しに伴う今後の本県における対応について（通知） ・新型コロナウイルス感染症の罹患後症状に関するリーフレットについて ・新型コロナウイルスワクチン追加接種（オミクロン株対応ワクチン接種）の体制整備に係る医療用物資の配布について ・予防接種法施行令の一部を改正する政令及び予防接種法施行規則及び予防接種実施規則の一部を改正する省令の公布並びに「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施について（指示）」の一部改正について ・COVID-19 JMATの登録および損害保険の改定について ・新型コロナウイルス感染症疑似症患者に対する経口治療薬の処方事例について ・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き」（自治体向け）の改訂について（10版） ・武田社ワクチン（ノババックス）の配分等について（その6） ・新型コロナワクチン初回接種（1・2回目接種）に使用するモデルナ社ワクチンの配分等について ・令和4年台風14号に伴う災害の被災者に係る被保険者証等の提示等及び公費負担医療の取扱いについて ・令和4年台風第14号に伴う要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・令和4年台風第14号に伴う要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について（その2） ・令和4年台風第14号による災害の被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について ・新たな化学物質規制に関するリーフレット及び事業者向けオンライン講習会の案内について（情報提供） ・令和4年度厚生労働省委託事業「在宅医療の災害時における医療提供体制強化支援事業」「在宅医療提供機関におけるBCP（事業継続計画）策定支援研修」の開催について（依頼） ・日本学校保健会が主催する研修会の開催について（依頼） ・地域医療構想調整会議における検討状況等の確認について ・「平日夜間・土日どうぞ！労働相談週間」の周知について（依頼） ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その26）」の送付について ・後期高齢者医療における窓口負担割合の見直しに伴う配慮措置に係る事務処理等について ・後期高齢者医療における窓口負担割合の見直しに伴う診療報酬明細書の計算事例の追加について（その2） ・厚生労働行政推進調査事業（風しんイムノクロマト法迅速キットの活用に関する研究）への協力依頼について（再依頼） ・「介護予防・日常生活支援総合事業における介護予防ケアマネジメント（第1号介護予防支援事業）の実施及び介護予防手帳の活用について」の一部改正について

送付日	文 書 名
9月22日	・令和4年度「医療関係機関等を対象にした特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会」の開催案内及び周知の協力依頼について ・令和4年度院内感染対策講習会「講習会②」の受講申込期間の延長及び「講習会①」の受講者の決定について ・季節性インフルエンザワクチンの供給及び今冬のインフルエンザワクチンの接種対象者への呼びかけについて ・令和4年度診療報酬改定において経過措置を設けた施設基準の取扱いの周知について（依頼） ・宮崎県市町村国保適正服薬促進支援事業への御協力について（依頼）
9月27日	・「オンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について」に関する文書通知方法の変更について ・オンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金における「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」の地方公共団体ごとの交付限度額等について（情報提供） ・新型コロナウイルスワクチン接種業務に従事する医療職の被扶養者の収入確認の特例の延長について ・予防接種法施行規則及び予防接種実施規則の一部を改正する省令の公布について（通知） ・「使用上の注意」の改訂について ・「医療用医薬品」，「医療機器，体外診断用医薬品等」，「再生医療等製品」を特定するための符号の容器への表示等について ・ラゲブリオカプセル200mgの保険適用に係る留意事項の一部改正について ・「医薬品等の注意事項等情報の提供について」の一部改正について ・令和4年度病床機能報告及び外来機能報告の実施等について ・令和4年台風15号に伴う災害の被災者に係る被保険者証等の提示等及び公費負担医療の取扱いについて ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その27）」の送付について

あとかき



な手術と、週に2回は関連病院での手術を精力的にされていました。短い間でしたが、内容の濃い期間を過ごし、音声外科のいろはを教わった後に大学に戻りました。その後開業するまでの間は、音声外科を専門として大学で診療を行いました。4年前に、小さなクリニックでも大学に遜色ない医療を提供されていた、一色先生を目標に開業をしましたが、今のところあまり実践できていません。先日、その一色先生が亡くなられたとの一報があり、思い出を含めさまざまな思いが去来しました。毎回の手術後には、その日の手術の反省をされ、新たな術式、手術器具を考案し試行錯誤されていた姿を覚えています。クリニックでは、最近は新型コロナ患者の急増もあり、一般耳鼻科診療すらままならない状態でしたが、ようやく第7波も収まりつつあります。恩師の姿に少しでも近づけるよう、あらためて初心に立ち返って診療を続けたいと思います。(長井)

少し前ですが、東京のJR山手線・渋谷駅で、線路に財布を落としたという理由で列車の非常停止ボタンを押した若い男性に対し、駅員が激高する様子を隠し撮りして、自分に都合のいい部分を切り取った動画が拡散され問題になっておりました。この若い男性の独りよがりの行動は全くの論外であり、私でもこの駅員の立場だったら同じ対応をするであろうと駅員に著しく同情いたしますが、今後、同じように診察を隠し撮りされ、悪意を持って加工されて拡散される事態も起こりうる可能性はあります。医療以外に考えることが日々多くなりゲンナリします。

(菊池)

臨床遺伝専門医の取得に向けて、今年から遺伝医学の勉強を始めました。コロナ禍ということもあって、関連学会・受講が必須のセミナーは、オンラインで参加が可能となりました。便利な反面、受講などに要する時間が膨大で、ついていくのがやっとなです。そのうえ、脳が退化してきており、学生時代は頼りにしていた「試験直前の大量詰め込み作戦」には期待できそうにありません。体の衰えをひしひしと感じて過しております。

(植田)

先日の台風14号は各地に甚大な被害をもたらしました。当院では予想以上の風雨で床が水浸しとなり、停電で機器のアラーム音が鳴り響く状況でした。冷蔵管理の薬品の処理や院内の清掃などに追われ、更に私が腰痛になり、診療に影響してしまいました。一般的な防災の情報は持っているつもりでしたが今回経験して気づくことがあり、環境に合う備えが必要だと実感しました。

(横山)

今から15年前、京都の一色クリニックという町中のクリニックに勤務しました。烏丸四条のオフィスビル4階にある小さなクリニックでしたが、全国から、時には海外からも患者さんが受診されていました。院長の一色信彦先生は、世界的にも有名な音声外科の大家で、当時80歳を過ぎたご高齢でしたが、自院での簡単

早くも1年目の臨床実習が終わろうとしています。ローテーションする診療科に慣れ、課題をこなすのに必死で、本当にあっという間でした。心惹かれる診療科が複数あり、どのような進路をとるか迷っていましたが、この1年で多くの先生方に進路に関してアドバイスをいただきました。どんな選択肢も完璧にはなりえないこと、どんな道を選ぶといつでも進路の修正はできること、気持ちの変化を恐れる必要はないことなど、いただいた言葉の数々に背中を押される心地がしています。

(平井)

大きな台風が去り、だんだんと気温も涼しくなって秋が近づいている気がします。もうすぐ4年生で最も大きな試験であるCBTを受験します。今年に入って臨床科目の試験を2回受け、先月にはOSCEを受験しました。一つひとつの試験を終えていくごとに達成感とだんだんと臨床実習に近づいているのだという少しの不安感も感じます。入学当初は何も知らず、すぐに病院で実習するのだと思っていたあのころから早くも4年が経過し、試験に無事合格できたらやっと第一歩が踏み出せます。残り数日ですが全力を尽くして頑張りたいです。

(山本)

「新型コロナはどこからきたのか」(シャーリ・マークソン著)を興味深く読みました。新型コロナウイルスの起源には、武漢ウイルス研究所流出説と自然発生説の2つがあります。この本ではウイルス研究の結果と状況証拠から前者を強く支持しています。一方で自然発生説を裏付けるデータはありません。パンデミックの再発を防ぐためにも起源を知ることが大切です。関心のある方はご一読ください。

(佐々木)

今月のトピックス

エコー・リレー

レビン&トレノ。青春時代に流行ってました。同級生がトレノ（AE86）で峠を攻めて自爆したのを思い出しました（本人は無傷）。YouTube、私は音楽系を除いてほとんど見ません。こういう商売が儲かるような世の中はおかしいと思いますので、イイネやチャンネル登録はしたことがありません。古い人間でせうか？ 7 ページ

身近なお困りごと相談室

第13回 職員の新型コロナウイルス感染による休暇の取扱いについて

Withコロナの流れで、感染者および濃厚接触者の隔離期間が短縮されました。しかしながら感染者は7日目でもまだ16%程度が排菌しているとのデータもあり、医療機関としては安易に出勤させるわけにはいきません。有休消化や傷病手当、労災使用はともかく、特別休暇というのは、経営側としても負担ですし、公平性にも問題があるように思います。本コーナーでは皆様からの質問を募集しております。 9 ページ

診療メモ 卵円孔開存 (PFO) に対するカテーテル治療

卵円孔開存に対するカテーテル治療について宮崎市郡医師会病院心臓病センター循環器内科の木村俊之先生に教えていただきました。PFOの診断には心エコーや微細な心雑音の判別が必要と思われ、非専門医には少しハードルが高いですが、若年者の脳梗塞は社会的影響も大きく、大変意義深い治療だと思います。 60ページ

宮大医学部学生のページ コロナの規制緩和と学生生活の変化

人生で一番充実するであろう学生時代に、勉強も部活も遊びも大きく制限される今の学生諸君に心から同情します。「明けない夜はない」というマクベスの名言もあります。卒業したら加速度的に時の流れが速くなります。貴重な学生時代をかみしめて過ごしてください。 62ページ

日 州 医 事 第878号 (令和4年10月号) (毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
http://www.miyazaki.med.or.jp/ E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 稲倉 琢也

副 委 員 長 菊池 英維

委 員 植田 雄一, 高橋 典子, 石田 康行,
長井 慎成, 早川 学, 横山 晃子

学 生 委 員 平井 昂也, 安藤菜々子, 鍛冶川雄登, 山本 樹

担当副会長 山村 善教

担 当 理 事 荒木 早苗, 高木 純一, 佐々木 究

事 務 局 学術広報課 弓削 圭介, 牧野 諭

印刷所 有限会社 中川印刷 落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円 (但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)